



渡嘉敷村公共施設等総合管理計画

渡嘉敷村
平成 29 年 3 月

目 次

第1章 公共施設等総合管理計画の策定の背景	1
1. 公共施設等総合管理計画の位置付け	1
(1) 計画の目的・理念	1
(2) 公共施設等総合管理計画で対象とする施設	2
第2章 村勢概要	3
1. 村の概要	3
2. 地形・地質	3
3. 気候	4
4. 産業	4
5. 特産品	4
6. 人口と世帯	5
(1) 総人口・世帯数	5
(2) 年代別人口の推移	6
(3) 人口動態（自然動態・社会動態）	7
(4) 将来人口の見込み	8
7. 財政・行政運営	9
(1) 歳入・歳出	9
(2) 普通建設事業費と地方債残高状況	10
(3) 公会計	11
第3章 公共建築物の現状と分析	17
1. 公共建築物	17
(1) 過去の整備量(延床面積)	17
(2) 機能別延床面積	19
(3) 施設老朽化の現状と課題	20
2. 道路	21
2-1. 村道	21
2-2. 農道	22
2-3. 林道	22
3. 橋梁	23
4. 漁港	23
5. 公園	24
6. 上水処理施設	25
7. 下水処理施設	26
8. ごみ処理施設	27

9. 防火水槽	28
10. 農業施設	28
11. その他公共施設	29
第4章 機能別の現状と分析	30
1. 行政窓口機能	30
(1) 施設概要	30
(2) 施設コストの実態	31
2. 公民館・コミュニティセンター等	32
(1) 施設概要	32
(2) 利用の実態	33
(3) 施設コストの実態	33
3. 観光機能施設	34
(1) 施設概要	34
(2) 施設コストの実態	35
4. 保健・福祉施設	36
(1) 施設概要	36
(2) 施設コストの実態	37
5. 学校教育機能（小学校・中学校）	38
(1) 施設概要	38
(2) 利用の実態	40
(3) 施設コストの実態	41
6. 子育て支援施設（保育所・幼稚園）	42
(1) 施設概要	42
(2) 利用の実態	43
(3) 施設コストの実態	44
7. 住宅環境	45
(1) 施設概要	45
(2) 施設コストの実態	47
8. 消防・防災施設	48
(1) 施設概要	48
(2) 施設コストの実態	49
9. 農林水産施設	50
(1) 施設概要	50
(3) 施設コストの実態	51
10. その他施設	52
(1) 施設概要	52
(2) 利用の実態	53
(3) 施設コストの実態	53

第5章 将来の施設更新投資等の試算（財務シミュレーション）	54
1. 更新投資試算の方法	54
2. 公共建築物に係る更新投資の試算	54
3. インフラ資産に係る更新投資の試算	55
4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算	56
5. 財務シミュレーション	57
（1）財務シミュレーションの前提条件	57
（2）財務シミュレーション実施結果	57
第6章 課題の整理と基本的な方向性	58
1. 村勢概要等からみた課題	58
（1）村の特徴を踏まえた公共施設のあり方	58
（2）少子高齢化と将来的な人口減少を踏まえた公共施設のあり方	58
（3）厳しい財政を踏まえた公共施設のあり方	59
2. 公共施設全体の状況からみた課題	60
（1）公共建築物	60
（2）道路	60
（3）橋梁	61
（4）漁港	61
（5）公園	61
（6）上水処理施設	62
（7）下水処理施設	62
（8）ごみ処理施設	62
（9）防火水槽	63
（10）農業施設	63
（11）その他公共施設	63
3. 施設機能別（建築物）にみた課題	64
（1）行政系施設	64
（2）公民館・コミュニティセンター等	64
（3）観光機能施設	64
（4）保健・福祉施設	65
（5）学校教育機能（小学校・中学校）	65
（6）子育て支援施設	65
（7）住宅環境	66
（8）消防・防災施設	66
（9）農林水産施設	66
（10）その他施設	66
4. 更新投資（財務シミュレーション）からみた課題	67
（1）更新投資額	67

(2) 財務シミュレーション	67
第7章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	68
1. 計画期間	68
2. 数値目標	69
3. 現状や課題に関する基本認識	70
4. 各種方針	70
第8章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	71
1. 公共建築物	71
2. インフラ施設	72
第9章 計画の推進にあたって	74
1. 全庁的な取組体制の構築	74
2. 情報管理及び共有方策	75
(1) 公共施設等に関する情報の一元管理	75
(2) 議会や住民との情報共有・相互理解の醸成	75
3. フォローアップの実施方針	75
(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定	75

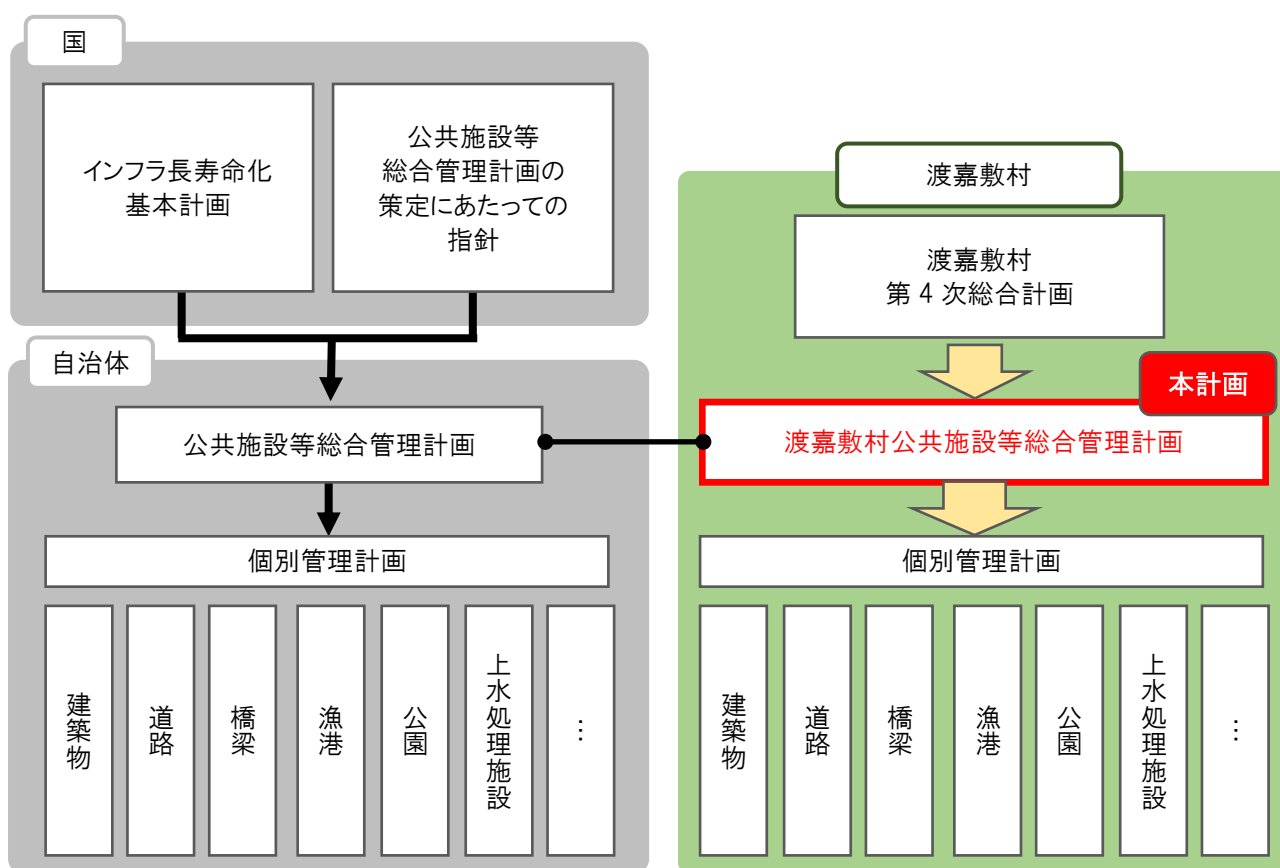
第1章 公共施設等総合管理計画の策定の背景

1. 公共施設等総合管理計画の位置付け

(1) 計画の目的・理念

現在、本村では財政状況・人口問題が厳しさを増す中、公共施設（インフラ施設を含む）の老朽化が進んでいます。

これらの公共施設の実態をできるだけ正確に把握し、将来に生じる改修・更新投資額を予測し、次の世代に引き継げる公共施設の整備、改修・更新、管理運営のあり方を財政的に示すことが本計画の目的です。



(2) 公共施設等総合管理計画で対象とする施設

本計画で対象とする施設は、本村が平成25年度（2013年度）末時点で保有する公共建築物と道路や橋梁、上下水道等のインフラ施設です。

① 公共建築物

本村にある公共建築物は、平成25年度(2013年度)時点で37施設あります。

下記の表は、37施設を機能毎に分けたものです。

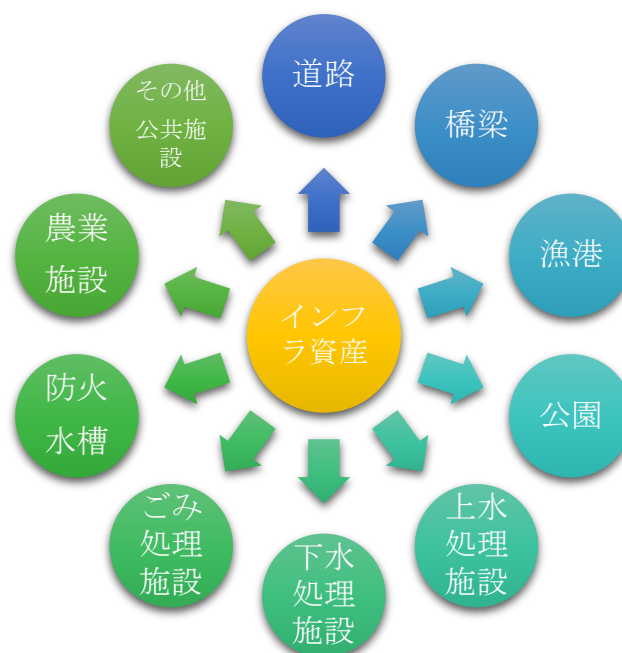
図表 対象施設

	対象施設	施設数	施設名称
1	行政窓口機能	1	渡嘉敷村役場庁舎
2	公民館・コミュニティセンター等	2	渡嘉敷中央公民館・阿波連生活館
3	観光機能施設	4	観光案内休憩所・歴史民俗資料館・青少年旅行村・森林公園 ログハウス
4	保健・福祉施設	4	へき地保健指導所・渡嘉敷村歯科診療所・高齢者生活福祉センター・渡嘉敷理容・美容館
5	学校教育施設（小学校・中学校）	4	渡嘉敷小学校・渡嘉敷中学校・阿波連小学校・学校給食共同調理場
6	子育て支援施設（保育所・幼稚園）	2	渡嘉敷村へき地保育所・渡嘉敷幼稚園
7	住宅環境	14	村営住宅(7施設)・教員住宅等(6施設)・職員住宅
8	消防・防災施設	1	消防車庫
9	農林水産施設	4	滞在型体験農園施設・共同処理加工場・集出荷施設・渡嘉敷村農産物処理加工施設
10	その他施設	1	渡嘉敷村前山墓園
	合 計 施 設 数	37	

② インフラ施設

インフラ施設としては、道路（村道・農道・林道）、橋梁、漁港、公園、上水処理施設、下水処理施設、ごみ処理施設、防火水槽、農業施設、その他公共施設を対象とします。

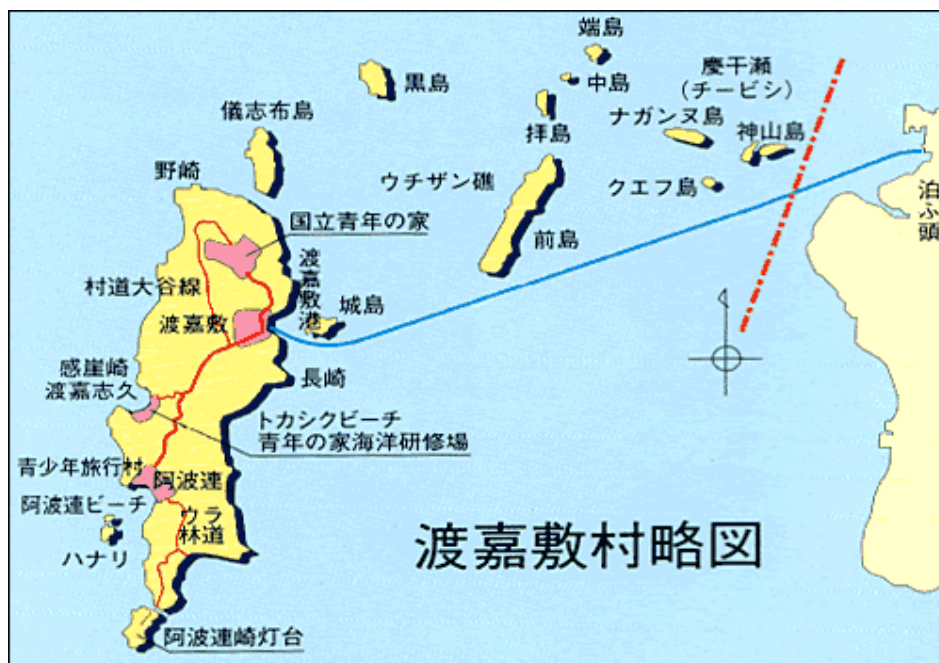
※海岸は本村の管理下ですがコストがかかっていないため、本計画では対象外とします。



第2章 村勢概要

1. 村の概要

本村は沖縄本島那覇市の西方約40kmに点在する慶良間諸島のうち渡嘉敷島を始め10余りの島からなる村で、慶良間諸島のほぼ東半分を占め、島尻郡に属しています。



2. 地形・地質

本村は、中央部から北側にかけて200メートルを越す山々が連なり、その間にあるわずかな低地に渡嘉敷集落が形成されています。島の南側にかけてだんだんと低くなっており南向きに開けたビーチの近くには阿波連集落が形成されています。中央の低地を除けば、山の急斜面や絶壁が海に迫り、険しい海岸線の所々に砂浜が形成されリーフが広がっています。



3. 気候

本村は1年を通して温暖な気候です。夏は日差しが強いですが、気温は30℃を少し上回る程度に留まります。冬は寒い日でも16℃ほどで、1・2月でも天気が良ければ20℃以上の日もあります。

夏は海水浴のお客様で賑わい、世界でも5本の指に入るといわれる慶良間の海には1年を通してダイバーの訪れる島となっています。また、12月～4月にかけてザトウクジラが北洋の海から繁殖活動のため南下し慶良間諸島の周りに滞在するので、冬場はホエールウォッチングを楽しむことも出来ます。

4. 産業

サービス業を基軸とした産業構造が形成されており、特に観光産業が盛んです。阿波連ビーチや渡嘉志久ビーチは人気があり、ホエールウォッチングも楽しめます。

また2006年からとかしき島一周マラソン大会（平成28年は天候悪化のため中止）が開催され、地域の活性化に力を入れています。

5. 特産品

マグロジャーキー、マグロの佃煮、カツオの佃煮、島むんぜリー、とかしきの風（リキュール酒）、村咲そばがあります。



6. 人口と世帯

(1) 総人口・世帯数

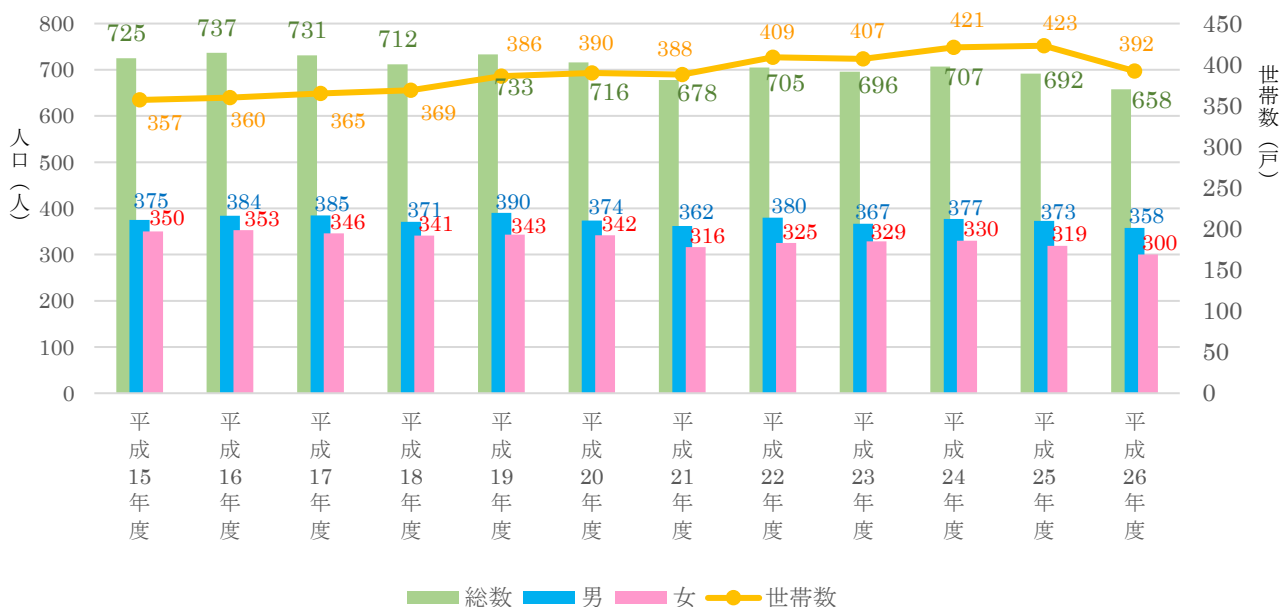
住民基本台帳によると、平成15年度(2003年度)は人口725人、世帯数357世帯となっています。平成26年度(2014年度)は人口658人、世帯数392世帯となっており、11年間で人口が約10%減少していますが、世帯数は約10%増加しています。

人口減少の要因として、進学に伴う家族の島外転出(子育て世代の減少)が挙げられます。世帯数増加の要因として、本村の観光客数の増加に伴う単身世帯の転入(単身世帯の増加)挙げられます。

図表 人口・世帯の推移(単位:人・戸)

	総数	男	女	世帯数	対象前年度増減	
					人口	世帯
平成15年度	725	375	350	357		
平成16年度	737	384	353	360	12	3
平成17年度	731	385	346	365	▲6	5
平成18年度	712	371	341	369	▲19	4
平成19年度	733	390	343	386	21	17
平成20年度	716	374	342	390	▲17	4
平成21年度	678	362	316	388	▲38	▲2
平成22年度	705	380	325	409	27	21
平成23年度	696	367	329	407	▲9	▲2
平成24年度	707	377	330	421	11	14
平成25年度	692	373	319	423	▲15	2
平成26年度	658	358	300	392	▲34	▲31

資料:「住民基本台帳年報」を基に作成(渡嘉敷村)



(2) 年代別人口の推移

年齢別人口をみると、年少人口(0～14歳)は、平成17年度(2005年度)で140人、人口に占める割合は19.2%でした。平成26年度(2014年度)で103人、割合は15.7%と3.5%減少しています。生産年齢人口(15～64歳)は、平成17年度(2005年)で398人、人口に占める割合は54.4%でした。平成26年度(2014年度)は399人で割合は60.6%と一人増えたのみですが、人口割合は6.2%増えています。老年人口(65歳以上)は、平成17年度(2005年度)で193人、人口に占める割合は26.4%でした。平成26年度(2014年度)は156人、割合は23.7%と2.7%減少しています。

全体的に年少人口と老年人口は減少しており、生産年齢人口は増加しています。一般的にいわれている人口推移(年少人口・生産年齢人口減、老年人口増による少子高齢化)と異なっていますが、以下複数の要因が挙げられます。

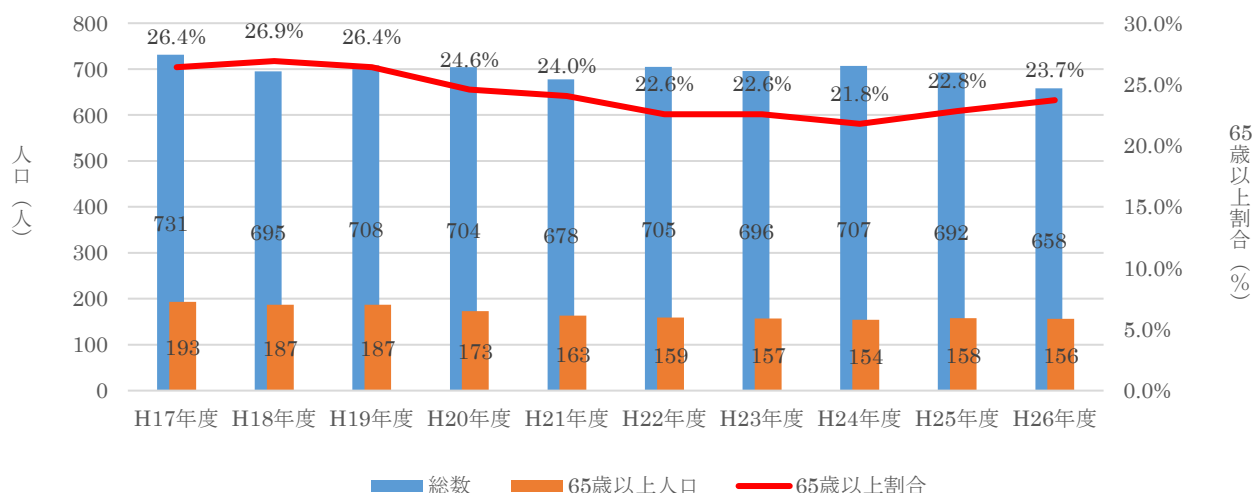
- ・ 前述の子育て世代減少、雇用需要増による単身者増加
- ・ 老年世帯の子や孫が村外転出時についていく
- ・ 村内に入院施設が無く、老健施設に制限があることによる入院・介護の為の転出

図表 過去10年間の年代別人口の推移(単位:人)

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合
平成17年度	140	19.2%	398	54.4%	193	26.4%
平成18年度	118	17.0%	390	56.1%	187	26.9%
平成19年度	130	18.4%	391	55.2%	187	26.4%
平成20年度	123	17.5%	408	58.0%	173	24.6%
平成21年度	117	17.3%	398	58.7%	163	24.0%
平成22年度	126	17.9%	420	59.6%	159	22.6%
平成23年度	121	17.4%	418	60.1%	157	22.6%
平成24年度	117	16.5%	436	61.7%	154	21.8%
平成25年度	104	15.0%	430	62.1%	158	22.8%
平成26年度	103	15.7%	399	60.6%	156	23.7%

資料:「住民基本台帳年報」を基に作成(渡嘉敷村)

図表 65歳以上の人口の推移及び割合



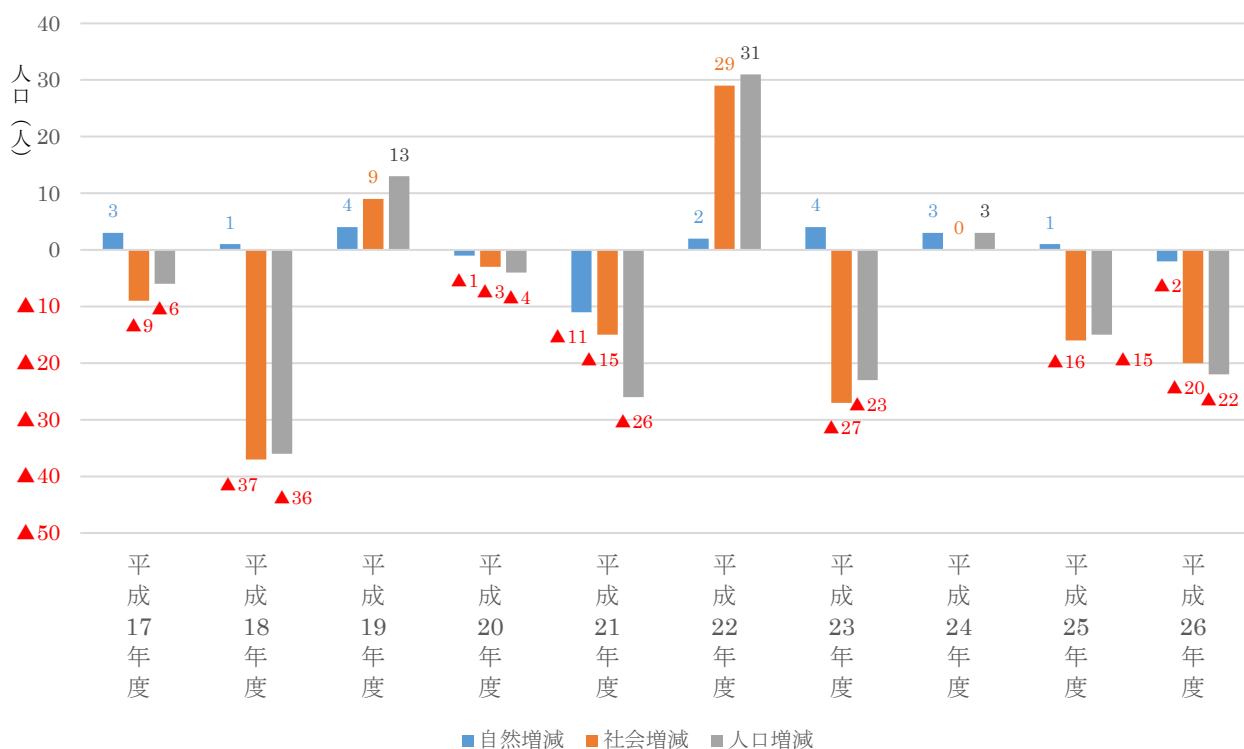
(3) 人口動態（自然動態・社会動態）

人口動態は、自然動態（出生・死亡）に関しては大きな増減傾向は見られませんが、社会動態（転入・転出）に関しては、転出が転入を上回り、総人口は減少傾向にあります。

図表 人口動態（自然動態・社会動態）（単位：人）

年月	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入等	転出等	社会増減	
平成 17 年度	10	7	3	61	70	▲9	▲6
平成 18 年度	8	7	1	84	121	▲37	▲36
平成 19 年度	11	7	4	92	83	9	13
平成 20 年度	9	10	▲1	95	98	▲3	▲4
平成 21 年度	4	15	▲11	73	88	▲15	▲26
平成 22 年度	10	8	2	80	51	29	31
平成 23 年度	7	3	4	80	107	▲27	▲23
平成 24 年度	11	8	3	76	76	0	3
平成 25 年度	5	4	1	65	81	▲16	▲15
平成 26 年度	7	9	▲2	64	84	▲20	▲22

資料：「住民基本台帳月報」を基に作成（渡嘉敷村）



(4) 将来人口の見込み

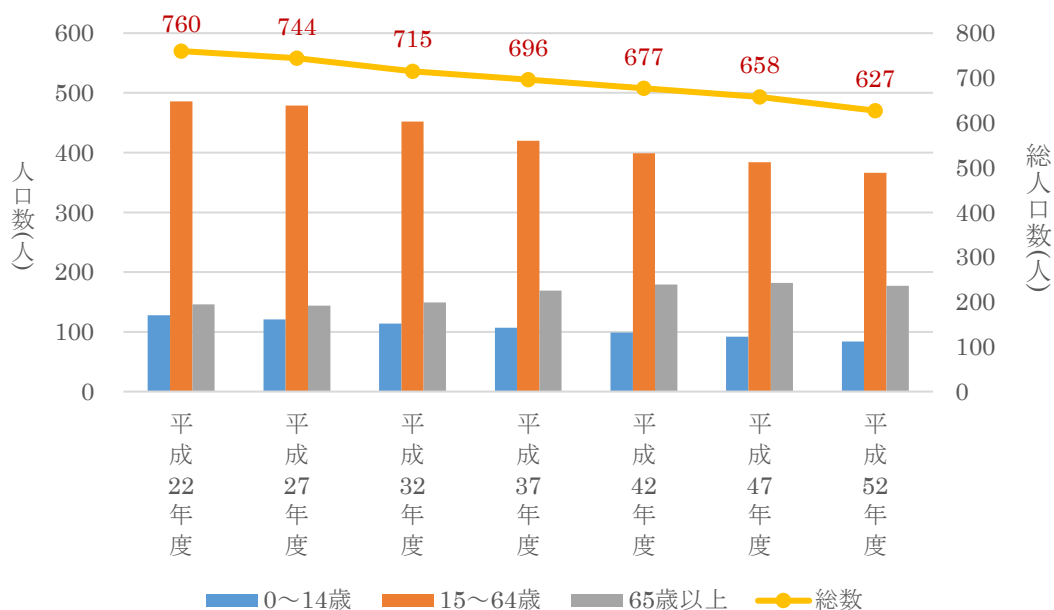
国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、平成22年度(2010年度)の総人口760人から15年後の平成37年(2025年度)に総人口700人を割り込む696人となり、30年後の平成52年(2040年度)には627人と30年間で約133人・約17.5%減少する見込みです。

年齢別では、30年間で年少人口(0～14歳)は約44人・約34.3%減少、生産年齢人口(15～64歳)では約120人・約24.7%減少、老年人口(65歳以上)では約31人・約21%増加する見込みです。

図表 将来人口の見込み(単位:人)

	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
0～14歳	128	121	114	107	99	92	84
15～64歳	486	479	452	420	399	384	366
65歳以上	146	144	149	169	179	182	177
総数	760	744	715	696	677	658	627

出展:「国立社会保障・人口問題研究所」掲載データ



7. 財政・行政運営

(1) 歳入・歳出

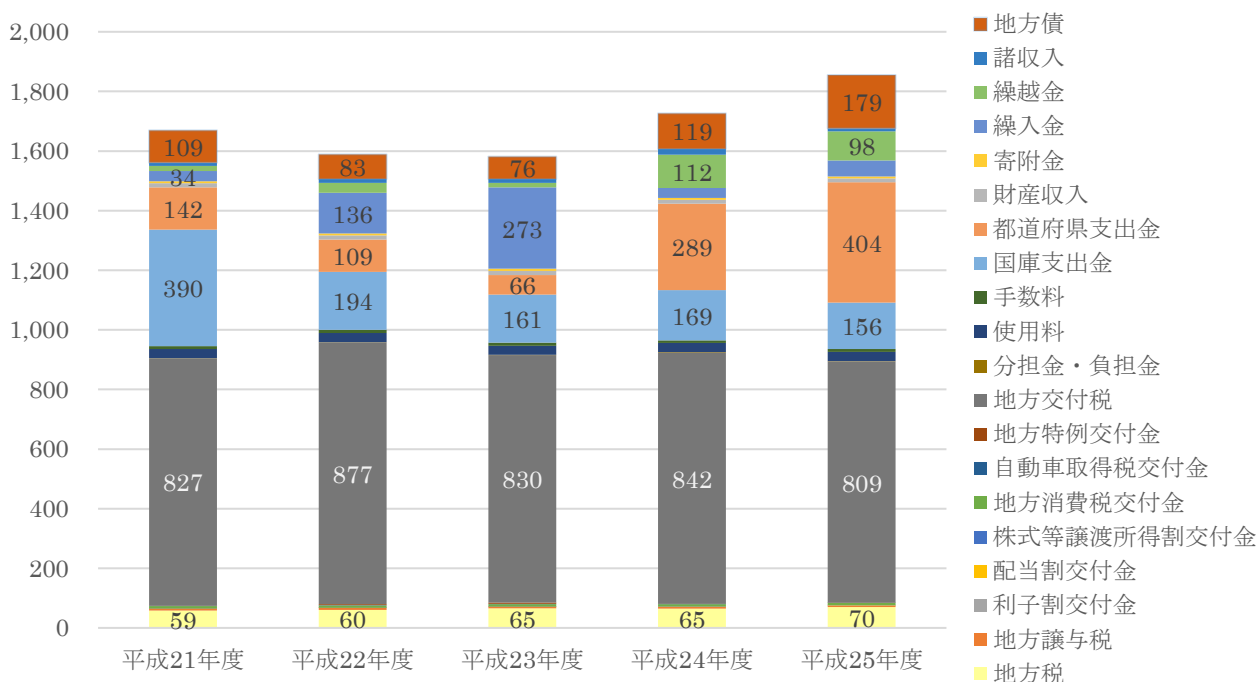
普通会計における歳入と歳出の状況では、平成25年度(2013年度)は、歳入が約18.5億円、歳出が約18億円となっており、過去5年間の平均では歳入が約17億円前後、歳出が約16億円前後で推移している状況です。

平成25年度(2013年度)の歳入内訳は地方交付税が43.6%と最も多く、以下、都道府県支出金が21.8%、地方債が9.6%、国庫支出金が8.4%となっています。これを自主財源(地方税、繰越金、繰入金、諸収入等)と依存財源(地方交付税、地方債、国庫支出金、都道府県支出金、地方消費税交付金等)に分類すると、自主財源が15.7%、依存財源が84.3%となり、依存財源の占める割合が高くなっています。地方交付税等の縮減・見直しなどもあり、自主財源の確保をさらに推し進める必要があります。

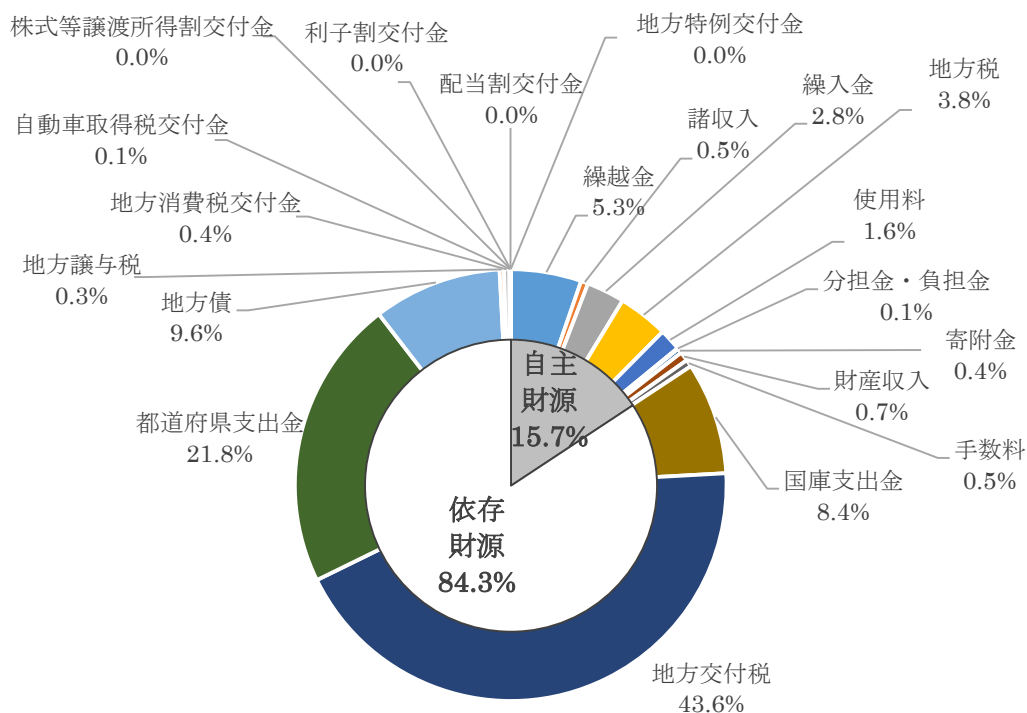
図表 決算状況(歳入、歳出の推移)(単位:百万円)



図表 決算状況歳入の内訳(単位:百万円)



図表 平成25年度歳入の内訳（自主財源と依存財源の構成比）

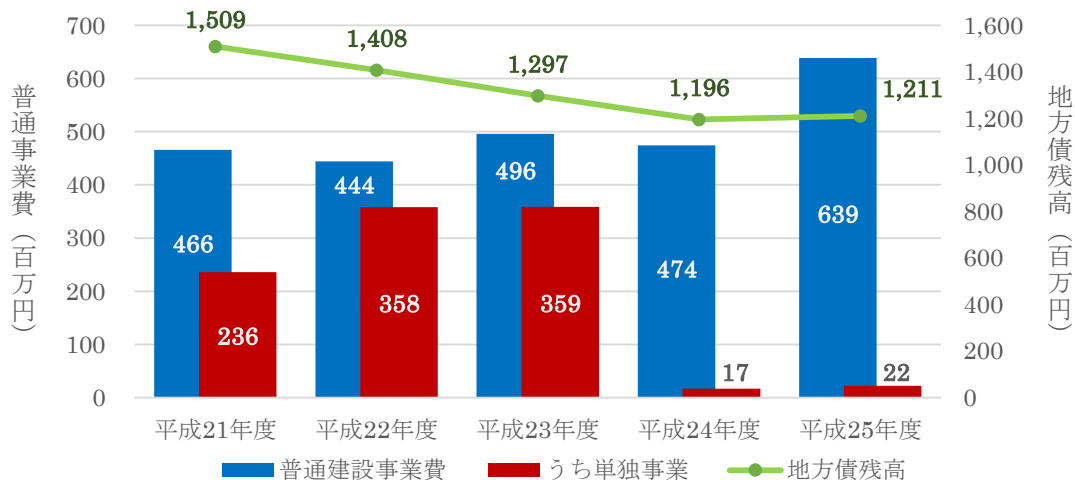


（2）普通建設事業費と地方債残高状況

普通会計における普通建設事業費は、平成25年度(2013年度)で6億39百万円となっており、平成21年度(2009年度)から平成24年度(2012年度)に比べ大きく増加しています。

平成24年度(2012年度)より、沖縄振興特別推進交付金を活用した事業（戦争遺跡遊歩道整備事業）や、校舎改築事業(学校施設環境改善交付金等)、ごみ処理施設基幹的施設整備事業(循環型社会形成推進交付金)の実施に伴い増加しています。このうち、教育関連及び環境関連施設は、更新・改良事業です。

図表 普通建設事業費・地方債残高の推移（単位：百万円）



(3) 公会計

平成23年度(2011年度)より取組んでいる公会計(基準モデル)の直近3年間平成24~26年度(2012~2014年度)の数字を経年比較しました。

① 貸借対照表

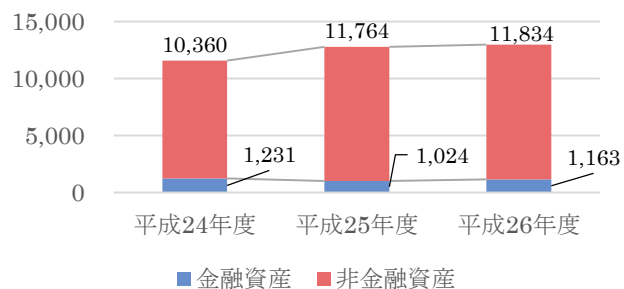
下記の図表より、平成24年度(2012年度)と平成26年度(2014年度)を比較すると、金融資産は減少し、固定資産は増加しております。総資産(資産合計)は平成26年度(2014年度)で約130億円と毎年増加している状況です。しかし、資産に占める金融資産の割合が平成25年度(2013年度)・26年度(2014年度)と10%に達していないという状況にあり、今後の固定資産更新や新規建設時の財源確保が課題となってきます。また、負債をみると大幅な増減傾向は見られませんが、金融資産が減少している状況を見ると、今後の固定資産更新や新規建設時での地方債発行の増加につながるものと考えられます。

図表 貸借対照表経年比較(単位:千円)

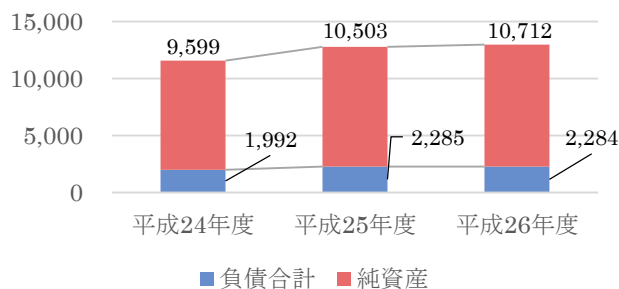
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
					H24→H25	H24→H26
資産	金融資産	1,231,424 10.6%	1,023,561 8.0%	1,162,672 8.9%	▲16.9%	▲5.6%
	固定資産	10,359,727 89.4%	11,764,367 92.0%	11,833,573 91.1%	13.6%	14.2%
資産合計		11,591,151 100.0%	12,787,928 100.0%	12,996,245 100.0%	10.3%	12.1%
負債		1,992,034 17.2%	2,285,233 17.9%	2,283,764 17.6%	14.7%	14.6%
純資産		9,599,117 82.8%	10,502,695 82.1%	10,712,481 82.4%	9.4%	11.6%
負債・純資産合計		11,591,151 100.0%	12,787,928 100.0%	12,996,245 100.0%	10.3%	12.1%

資料: 渡嘉敷村財務書類4表

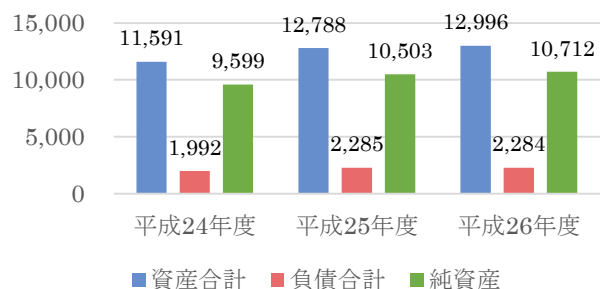
図表 貸借対照表: 資産(単位:百万円)



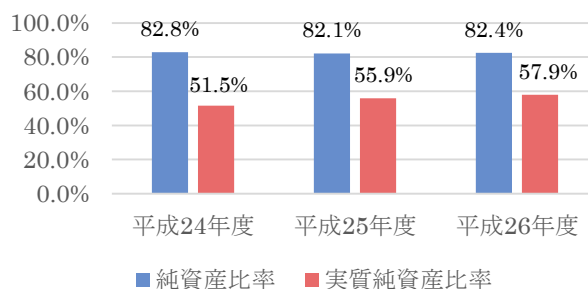
図表 貸借対照表: 負債・純資産(単位:百万円)



図表 貸借対照表: 資産・負債・純資産(単位:百万円)



図表 純資産比率(単位:%)



第2章 村勢概要

次に主な勘定科目を見てみると、資金は平成25年度(2013年度)で約3千8百万円と前年(平成24年度)より大幅に減少しましたが、平成26年度(2014年度)は約2倍の約8千1百万円まで回復しています。基金・積立金は、年度毎の大幅な増減は見受けられませんが、今後の固定資産更新や新規建設時の負担を考えるとまだまだ足りない状況です。

固定資産は事業用資産とインフラ資産に分けることができます。事業用資産は平成24年度(2012年度)から平成26年度(2014年度)で約50%弱の増加になっています。逆にインフラ資産は、平成24年度(2012年度)から平成26年度(2014年度)の3年間は約75億円の規模で推移しています。

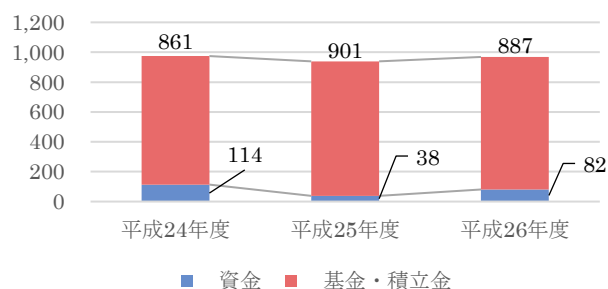
地方債は、平成25年度(2013年度)には発行額が20億円を超え、3年間で約3億5千万円強、増加しています。自主財源が乏しい為、今後の固定資産の更新及び新規建設の際は補助金や地方債等の依存財源に頼らざるを得ない状況です。

図表 主な勘定科目の増減 (単位：千円)

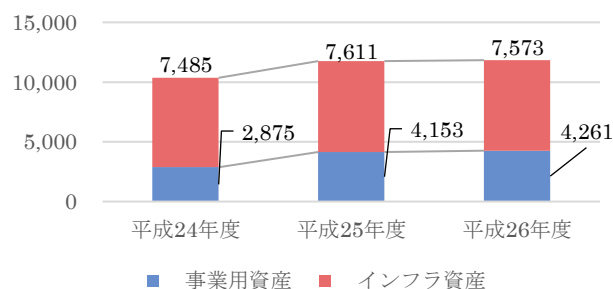
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
					H24→H25	H24→H26
金融資産	資金	113,545 9.2%	38,253 3.7%	81,783 7.0%	▲66.3%	▲28.0%
	基金・積立金	860,666 69.9%	900,700 88.0%	887,426 76.3%	4.7%	3.1%
固定資産	事業用資産	2,874,802 27.8%	4,153,096 35.3%	4,260,834 36.0%	44.5%	48.2%
	インフラ資産	7,484,925 72.2%	7,611,271 64.7%	7,572,739 64.0%	1.7%	1.2%
負債	地方債	1,696,586	2,025,042	2,052,653	19.4%	21.0%
	退職給付引当金	242,924	224,557	198,116	▲7.6%	▲18.4%

資料：渡嘉敷村財務書類4表を基に作成

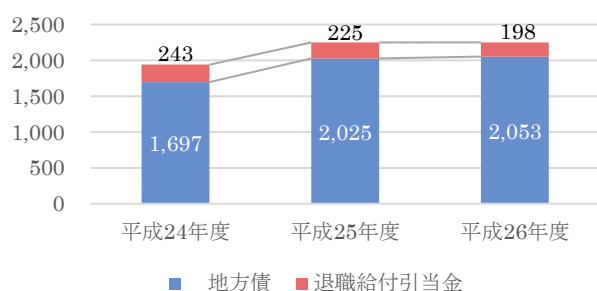
図表 貸借対照表：金融資産 (単位：百万円)



図表 貸借対照表：固定資産 (単位：百万円)



図表 貸借対照表：負債 (単位：百万円)



② 行政コスト計算書

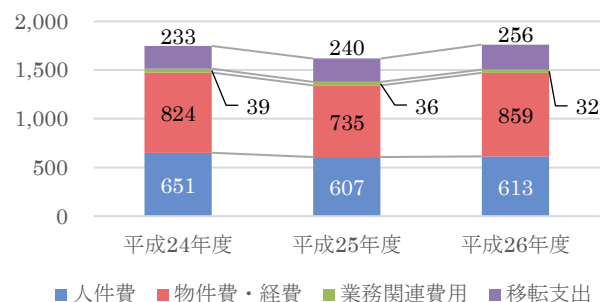
次に行政コスト計算書です。下図より、行政サービスを行うにあたり掛かった費用（経常費用という）を「人件費（議員・職員、およびパート・アルバイトに支払った給与）」・「物件費・経費（維持管理費や減価償却費等を含む）」・「業務関連費用（公債の利払い等）」・「移転支出（他の団体等に出した補助金や扶助費等）」で見ていくと「人件費」は約 35～38%、「物件費・経費」約 45～49%程度で推移しています。経常収益（使用料や手数料など）に関しては、毎年約 5 億円台で推移しています。

図表 行政コスト計算書（単位：千円）

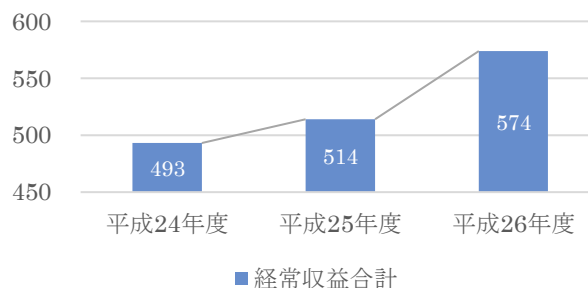
			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	伸び率	
						H24→H25	H24→H26
経常費用	人件費		650,764 37.3%	606,641 37.5%	613,156 34.8%	▲6.8%	▲5.8%
	物件費・経費	消耗品費	168,915	183,859	167,139	8.8%	▲1.1%
		減価償却費	116,015	122,943	274,993	6.0%	137.0%
		維持補修費	188,720	140,318	190,701	▲25.6%	1.0%
		その他物件費	42,986	46,868	47,502	9.0%	10.5%
		委託費	107,300	109,064	111,163	1.6%	3.6%
		その他経費	199,863	132,229	67,415	▲33.8%	▲66.3%
		小計	823,799 47.2%	735,281 45.5%	858,913 48.8%	▲10.7%	4.3%
	業務関連費用		39,434 2.3%	35,850 2.2%	32,254 1.8%	▲9.1%	▲18.2%
	移転支出		232,794 13.3%	239,956 14.8%	256,411 14.6%	3.1%	10.1%
経常費用合計			1,746,792	1,617,728	1,760,736	▲7.4%	0.8%
経常収益合計			493,147	514,090	573,889	4.2%	16.4%
純行政コスト			1,253,645	1,103,639	1,186,847	▲12.0%	▲5.3%

資料：渡嘉敷村財務書類 4 表を基に作成

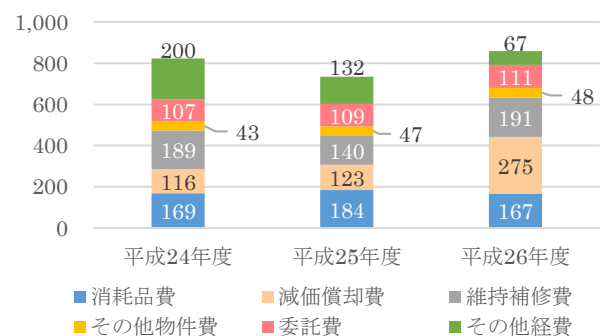
図表 行政コスト計算書：経常費用（単位：百万円）



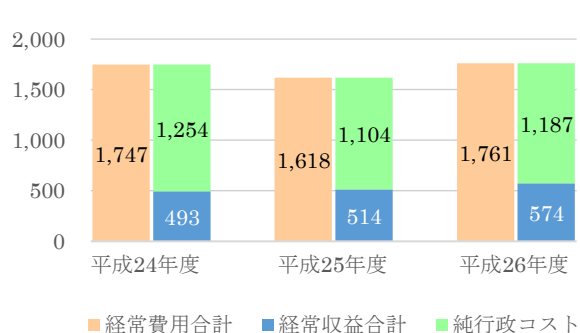
図表 行政コスト計算書：経常収益（単位：百万円）



図表 行政コスト計算書：物件費・経費内訳（単位：百万円）



図表 行政コスト計算書：経常費用合計（単位：百万円）



③ 純資産変動計算書

次に純資産変動計算書を見ていきます。特に見て頂きたい点は「財源の調達」です。「財源の調達」には「税収」・「社会保険料」・「補助金等」・「その他の移転収入」があります。本村本来の収入である税収は毎年微増しています。一方、依存財源である補助金は平成25年度で約21億8千万円と、前年度比約42%の増加となっておりますが、この要因はフェリー購入によるものが大きく、これを除くと毎年約15億円程度と考えられます。そう捉えると本村では財源調達の内、補助金等の占める割合が90%を超えている状況にあります。

図表 純資産変動計算書（単位：千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
				H24→H25	H24→H26
期首純資産残高	9,476,432	9,599,117	10,502,695	1.3%	10.8%
純行政コスト	-1,253,645	-1,103,639	-1,186,847	▲12.0%	▲5.3%
直接資本減耗	-288,626	-287,967	-301,006	▲0.2%	4.3%
財源調達	1,664,330	2,295,348	1,697,817	37.9%	2.0%
その他純資産の増減	626	-164	-178	▲126.2%	▲128.4%
期末純資産残高	9,599,117	10,502,695	10,712,481	9.4%	11.6%

資料：渡嘉敷村財務書類4表を基に作成

図表 純資産変動計算書（単位：百万円）



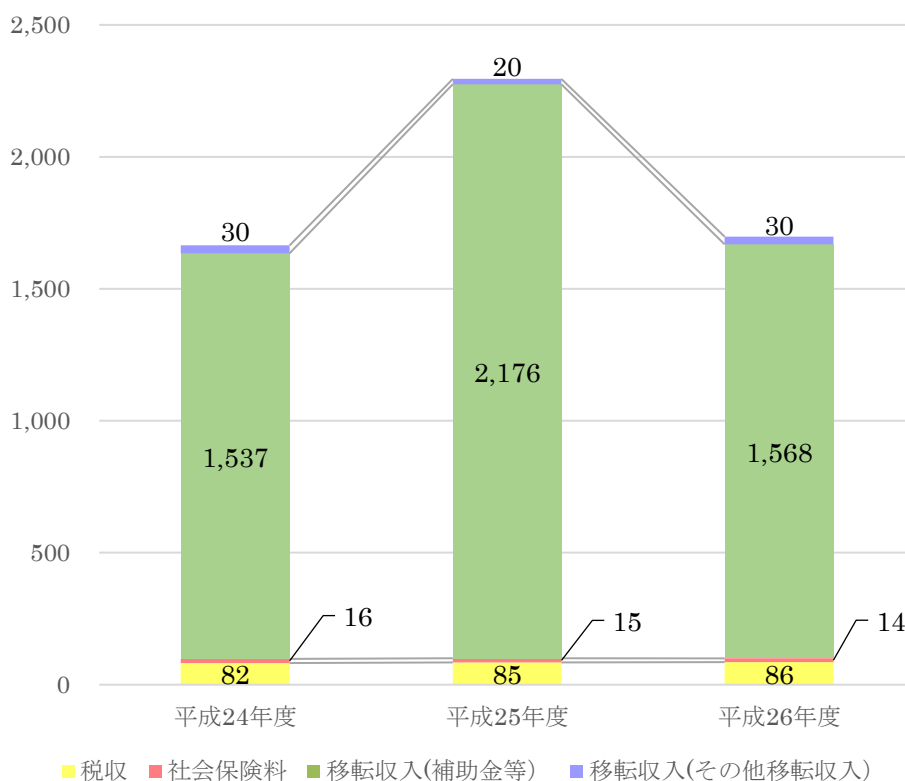
第2章 村勢概要

図表 主な財源調達の増減（単位：千円）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	伸び率	
				H24→H25	H24→H26
財源調達	1,664,330 100.0%	2,295,348 100.0%	1,697,817 100.0%	37.9%	2.0%
税収	82,067 4.9%	84,508 3.7%	85,615 5.0%	3.0%	4.3%
社会保険料	15,807 0.9%	15,088 0.7%	14,082 0.8%	▲4.5%	▲10.9%
移転収入（補助金等）	1,536,573 92.3%	2,175,599 94.8%	1,568,458 92.4%	41.6%	2.1%
移転収入（その他移転収入）	29,883 1.8%	20,153 0.9%	29,662 1.7%	▲32.6%	▲0.7%

資料：渡嘉敷村財務書類 4 表を基に作成

図表 財源内訳（単位：百万円）



④ 資金収支計算書

最後に資金収支計算書です。基礎的財政収支（プライマリーバランス）は、平成25年度に赤字になりましたが、他の年度は黒字で推移しています。黒字とは、公債に頼らない持続可能な財政運営を示しており良い傾向と言えるでしょう。

但し、いずれ国・県からの交付金や補助金が減額になれば公債発行額が増加し、手元資金を圧迫していくものと考えられます。

図表 資金収支計算書（単位：千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	伸び率	
				H24→H25	H24→H26
①経常的収支	436,849	1,493,103	679,815	241.8%	55.6%
②資本的収支	▲269,390	▲1,852,504	▲633,419	587.7%	135.1%
基礎的財政収支①+②	167,459	▲359,401	46,396	▲314.6%	▲72.3%
③財務的収支	▲183,399	284,108	▲2,865	▲254.9%	▲98.4%
当期収支	▲15,940	▲75,292	43,531	372.3%	▲373.1%
期首資金残高	129,485	113,545	38,253	▲12.3%	▲70.5%
期末資金残高	113,545	38,253	81,783	▲66.3%	▲28.0%

資料：渡嘉敷村財務諸表4表を基に作成

用語の説明

- 貸借対照表とは・・・本村の財政状況がわかる資料です。
 - ・資産とは・・・現在までの世代が積み上げてきた金融資産（基金等）や固定資産（建物・道路・水道施設など）です。
 - ・負債とは・・・将来世代が負担する地方債などです。
 - ・純資産とは・・・現在までの世代が負担した、返済の必要がない正味の資産です。
- 行政コスト計算書とは・・・行政サービス提供に要したコスト（費用）と村民の方々に負担していたコスト（収益）を明らかにしたものです。
- 純資産変動計算書とは・・・貸借対照表の純資産の変動を明らかにしたものです。財源調達では、どこから資金を調達してきたのかがわかります。
- 資金収支計算書とは・・・一年間のお金の流れを把握することができる資料です。
- 基礎的財政収支（プライマリーバランス）とは・・・期中の収支のうち公債の発行による収入とその公債にかかる支出（元本の償還、利息）を除いたもので本村で必要とされる財源をどれだけ自己で賄えているかを示す指標であり、黒字（プラス）であれば持続可能な財政運営を行っていると考えられます。

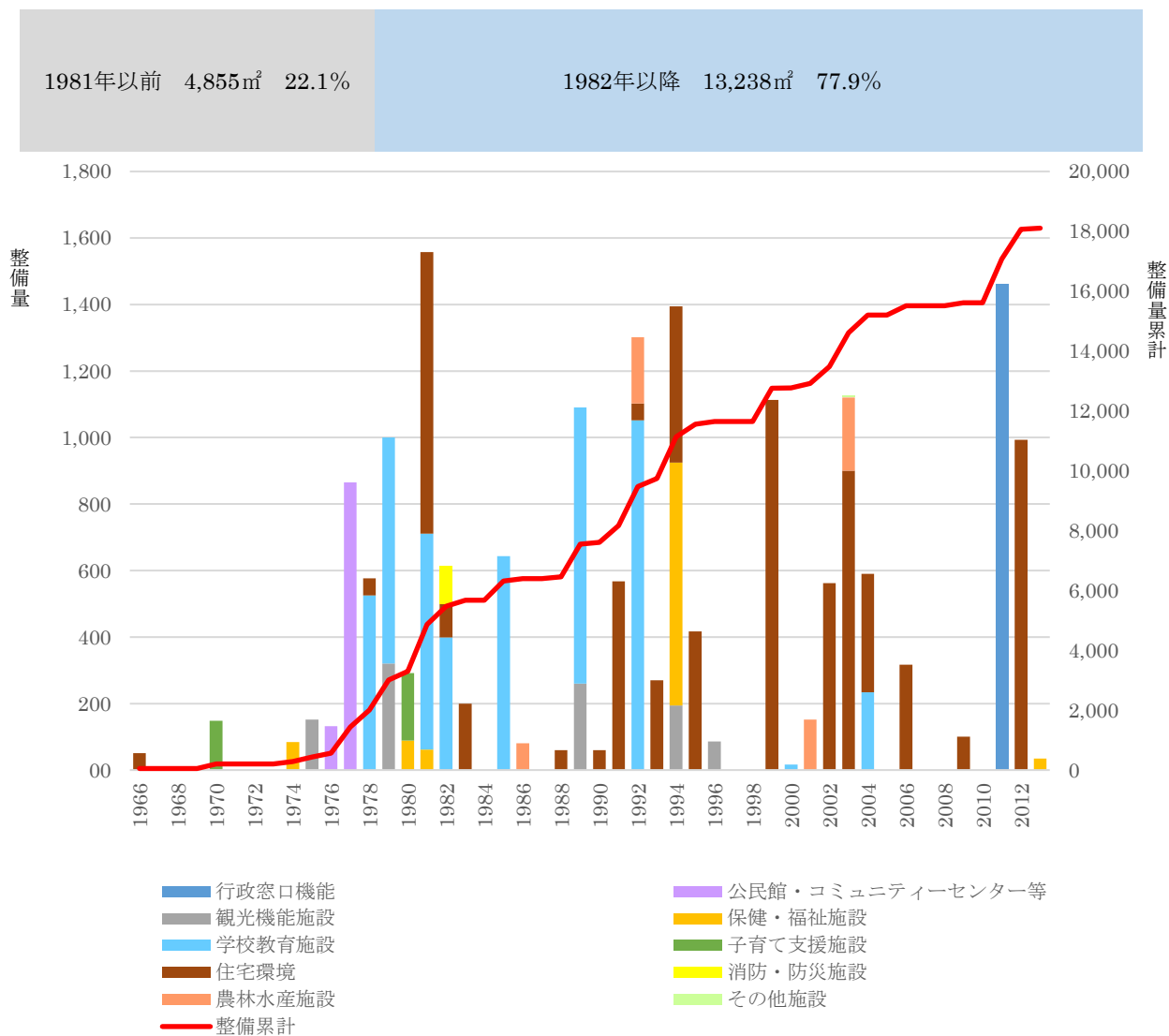
第3章 公共建築物の現状と分析

1. 公共建築物

(1) 過去の整備量(延床面積)

過去の整備量（延床面積）は全体で約 18,093 m²です

図表 過去の整備量（延床面積）（単位：m²）



第3章 公共建築物の現状と分析

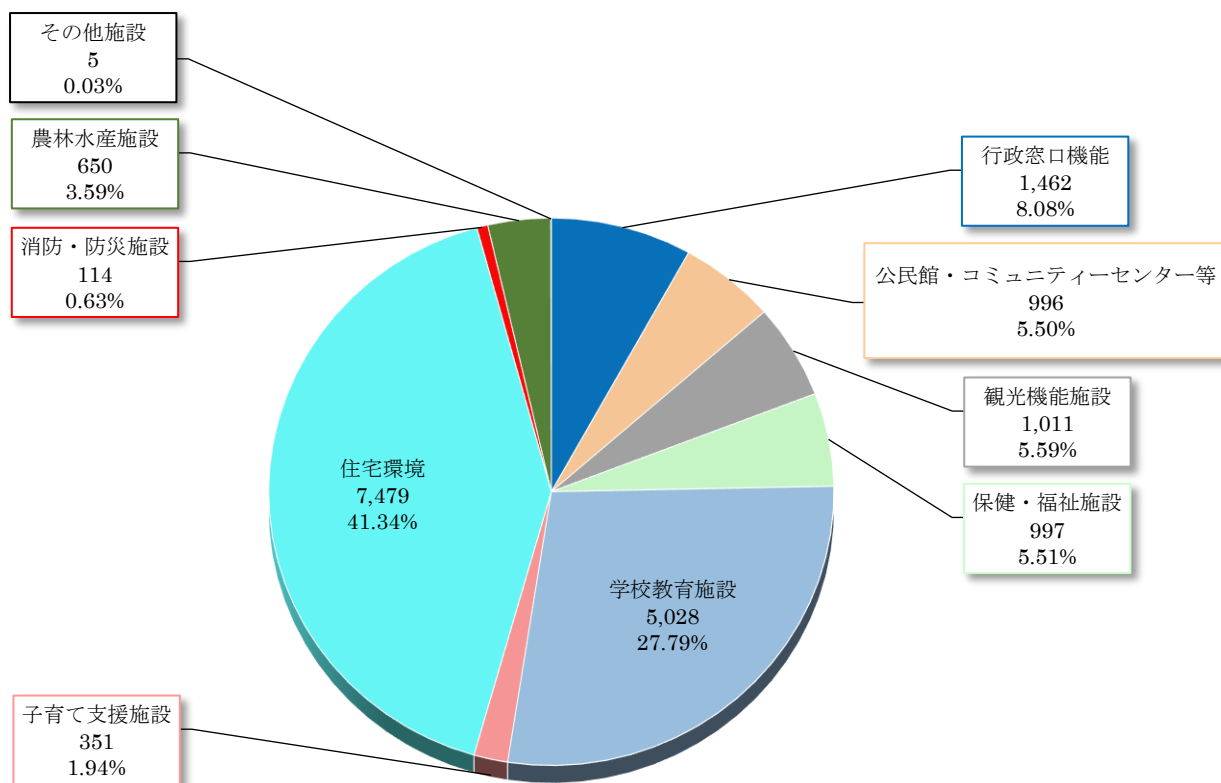
図表 過去の整備量（延床面積）（単位：㎡）

年度	行政系 施設	公民館・コ ミュニティ センター等	観光機能 施設	保健・ 福祉施設	学校教育 施設	子育て支援 施設	村営住宅 教員住宅等	消防・防災 施設	農林水産 施設	その他 施設	累計
1966							51				51
1967											51
1968											51
1969											51
1970						148					199
1971											199
1972											199
1973											199
1974				83							282
1975			152								434
1976		132									566
1977		864									1,430
1978					525		52				2,007
1979			320		680						3,007
1980				88		203					3,298
1981				61	650		846				4,855
1982					399		100	114			5,468
1983							200				5,668
1984											5,668
1985					643						6,311
1986									80		6,391
1987											6,391
1988							60				6,451
1989			260		830						7,541
1990							60				7,601
1991							567				8,168
1992					1,052		50		199		9,469
1993							269				9,738
1994			194	730			469				11,131
1995							416				11,547
1996			85								11,632
1997											11,632
1998											11,632
1999							1,113				12,745
2000					16						12,761
2001									151		12,912
2002							561				13,473
2003							900		220	5	14,598
2004					233		356				15,187
2005											15,187
2006							316				15,503
2007											15,503
2008											15,503
2009							100				15,603
2010											15,603
2011	1,462										17,065
2012							993				18,058
2013				35							18,093

(2) 機能別延床面積

延床面積 18,093 m²に対して、各々の機能別施設の割合は、住宅環境が 41.34%と最も高く、次に学校教育施設が 27.79%となっています。

図表 機能別延床面積割合（単位：m²）



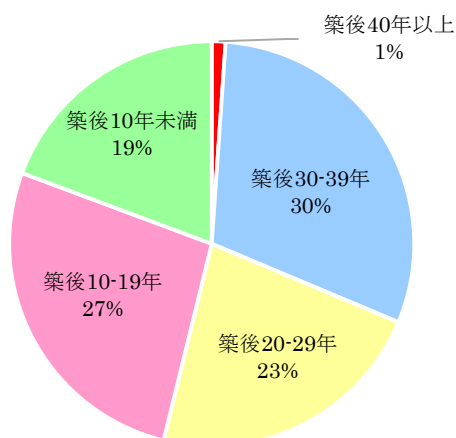
図表 機能別延床面積割合

機能別施設	延床面積	比率
行政窓口機能	1,462 m ²	8.08%
公民館・コミュニティセンター等	996 m ²	5.50%
観光機能施設	1,011 m ²	5.59%
保健・福祉施設	997 m ²	5.51%
学校教育施設（小学校・中学校）	5,028 m ²	27.79%
子育て支援施設（保育所・幼稚園）	351 m ²	1.94%
住宅環境	7,479 m ²	41.34%
消防・防災施設	114 m ²	0.63%
農林水産施設	650 m ²	3.59%
その他施設	5 m ²	0.03%
合 計	18,093 m ²	100.0%

(3) 施設老朽化の現状と課題

築後40年以上経過している公共建築物は2施設あり、ともに渡嘉敷区にある昭和41年に建築された職員住宅と昭和45年に建築された渡嘉敷村へき地保育所です。

図表 築年別割合



過去に整備された公共建築物全体の整備量（延床面積）は、約18,093 m²です。

建築後年数による割合は、

- ・ 築後40年以上は、約1%
- ・ 築後30～39年は、約30%
- ・ 築後20～29年は、約23%
- ・ 築後10～19年は、約27%
- ・ 築後10年未満は、約19%

となっており、築後20年～40年が全施設面積の約5割強となっています。

図表 機能別施設老朽化比率

	施設数	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満
行政窓口施設	1					1
公民館・コミュニティセンター等	2		2			
観光機能施設	4		2	1	1	
保健・福祉施設	4	1	1	1	1	
学校教育施設（小学校・中学校）	4		2	1	1	
子育て支援施設（保育所・幼稚園）	2	1	1			
住宅環境	14			7	7	1
消防・防災施設	1	1				
農林水産施設	4		2	1	1	
その他施設	1					
比率	-	8%	27%	30%	30%	5%
合計施設数	37	3	10	11	11	2

老朽化が80%以上の施設を機能別に見てみると以下ようになります。

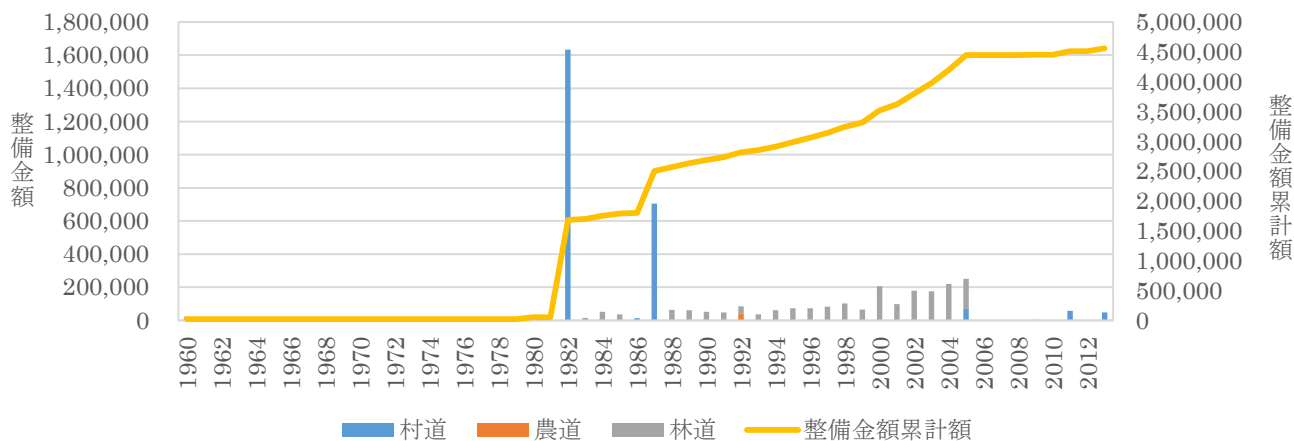
- ① 保健・福祉機能…渡嘉敷村歯科診療所（昭和49年度）
- ② 子育て支援機能…渡嘉敷村へき地保育所（昭和45年度）
- ③ 消防・防災…消防車庫（昭和57年度）

※（ ）内は建築された事業年度をあらわします。

2. 道路

道路（村道・農道・林道）の年度別整備状況は下図のようになります。

図表 道路全体の年度別整備金額（単位：千円）



出典：固定資産台帳

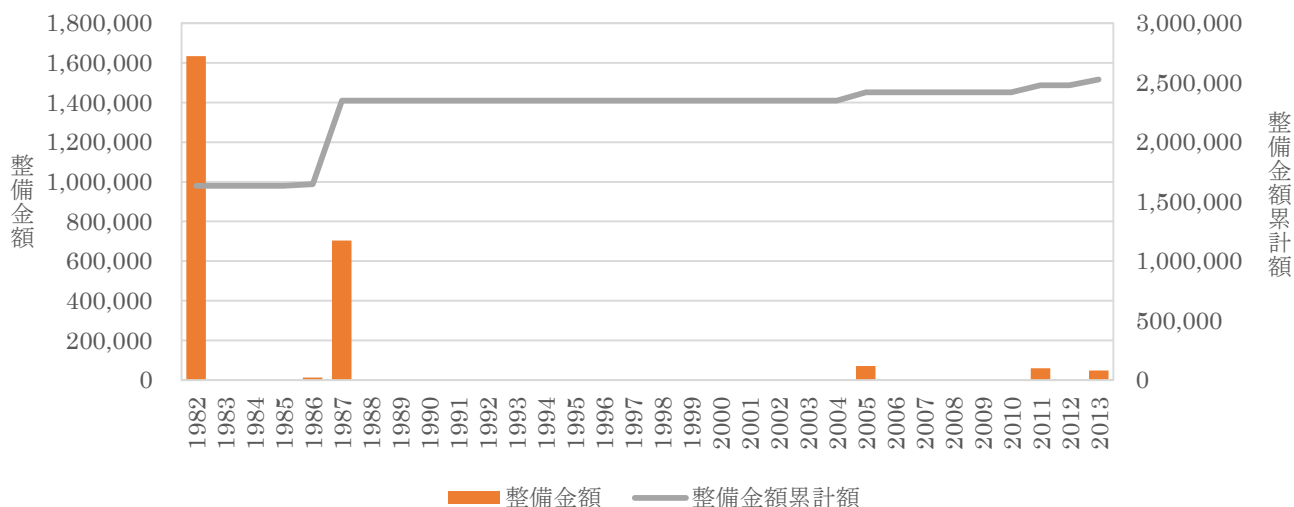
2-1. 村道

村道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は約 21,675m になり、整備金額が多い時期は、昭和 57 年度（1982 年度）、昭和 62 年度（1987 年度）になっています。この 2 つの整備年度について注目してみると、昭和 57 年度（1982 年度）では整備金額約 16 億円を投資し、総延長の内 12,950m・59.7%がこの年に整備されました。

次に 1987 年度（昭和 62 年度）に注目してみると、この年に整備された村道は 3 つあり、それぞれ「阿波連漁港内線」、「大谷線」、「前岳線」となっています。整備金額約 7 億円・5,028m が整備されました。

図表 村道の年度別整備金額（単位：千円）



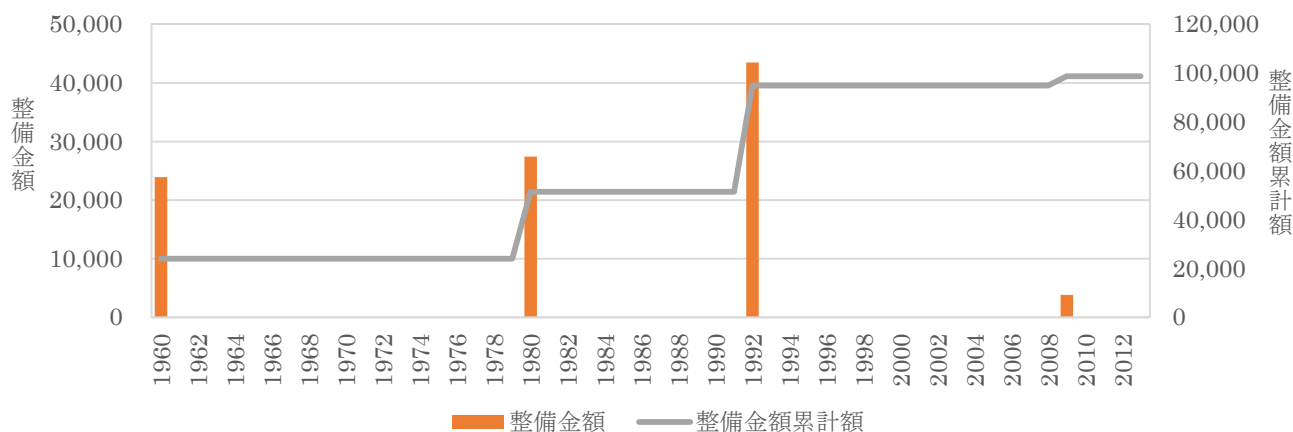
出典：固定資産台帳

2-2. 農道

農道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は約 3,596.5m になり、整備が多い時期は、昭和 35 年度（1960 年度）、昭和 55 年度（1980 年度）、平成 4 年度（1992 年度）になっています。ここで一番整備金額が大きい平成 4 年度（1992 年度）に注目してみると、整備金額約 4 千 3 百万円をかけ、3,527m が整備されました。

図表 農道の年度別整備金額（単位：千円）



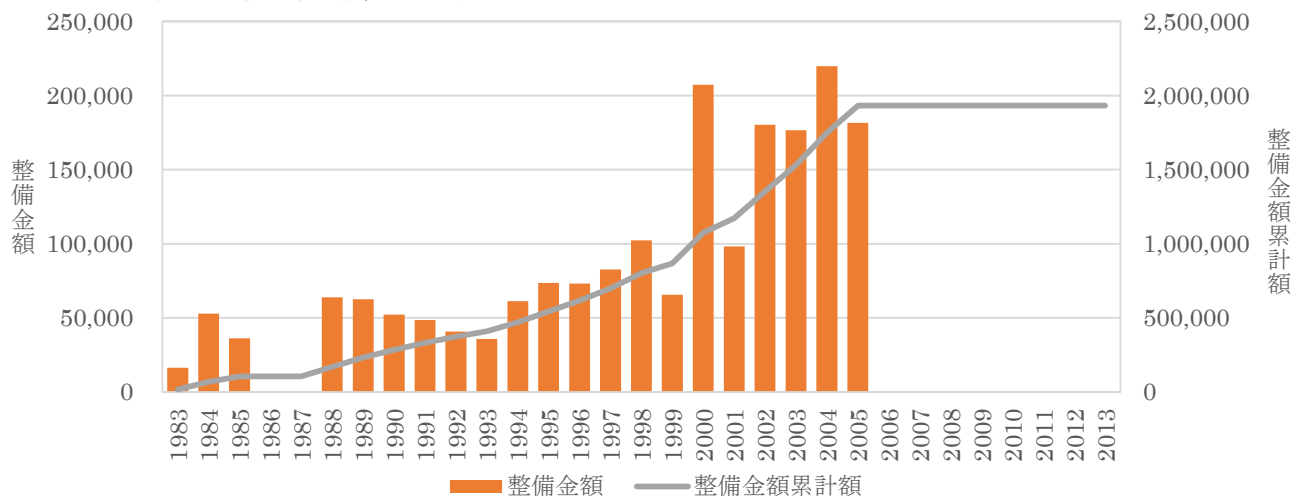
出典：固定資産台帳

2-3. 林道

林道は、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

総延長は約 14,290m となっています。昭和 63 年度（1983 年度）から平成 17 年度（2005 年度）まで一定の投資をおこない整備した状況が見られます。一番整備金額が大きい平成 16 年度（2004 年度）に整備された林道は「久比里原林道」で整備金額約 2 億円をかけ、1,063m（総延長の約 7.4%）が整備されました。

図表 林道の年度別整備金額（単位：千円）



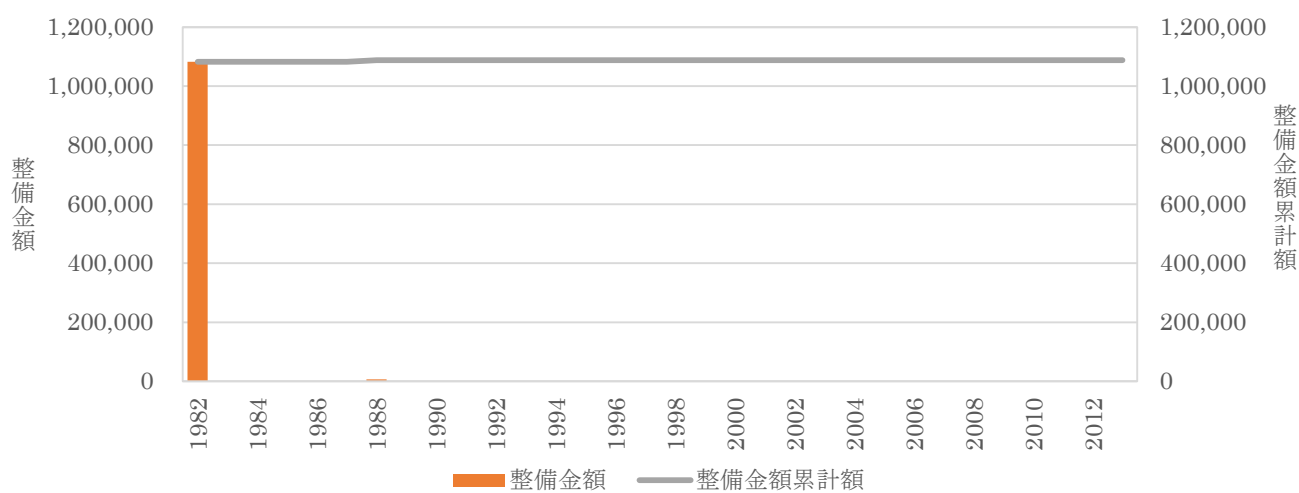
出典：固定資産台帳

3. 橋梁

橋梁整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

村が管理している橋梁の総延長は 180.85m になります。整備が多い時期は、昭和 57 年度（1982 年度）となっています。この年に整備された橋梁は「村道阿波連線」と「村道青年の家線（平和橋・希望橋・未来橋）」の 4 本で、整備金額約 11 億円をかけて 170m（総延長の約 94%）が整備されました。1988 年度（昭和 63 年度）には「渡嘉敷林道 くんみ橋」が整備金額約 600 万円をかけて 10.85m 整備されています。

図表 橋梁の年度別整備金額（単位：千円）



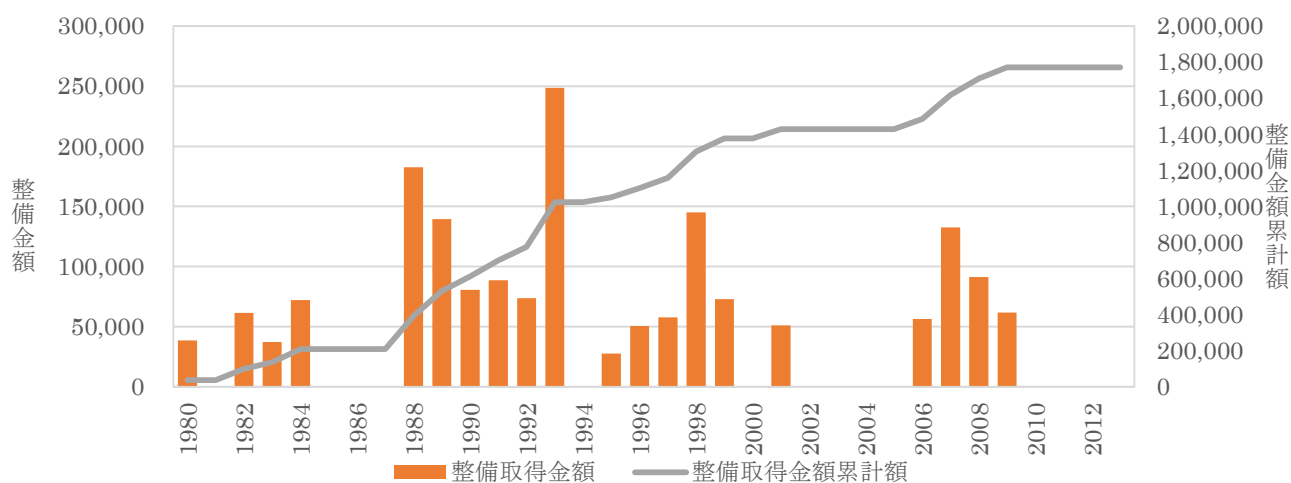
出典：固定資産台帳

4. 漁港

漁港整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

漁港は阿波連漁港の 1 施設で、平成 5 年度（1993 年度）は約 2 億 5 千万整備されています。

図表 漁港の年度別整備金額（単位：千円）



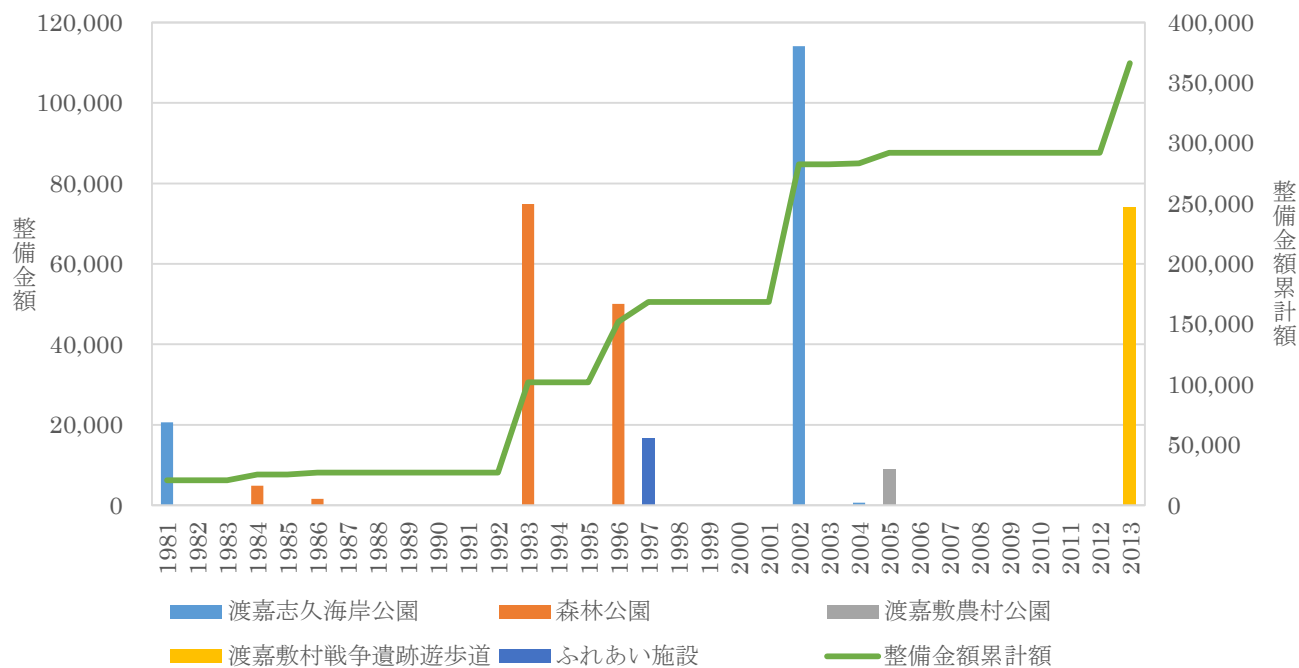
出典：固定資産台帳

5. 公園

公園整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

平成5年度・8年度（1993・1996年度）に、「森林公園」が約1億2千万円をかけて整備され、平成14年度（2002年度）は「渡嘉志久海岸公園」が整備金額約1億円をかけて整備され、平成25年度（2013年度）は「渡嘉敷村戦争遺跡遊歩道」が約7千万円をかけて整備されました。

図表 公園の年度別整備金額（単位：千円）

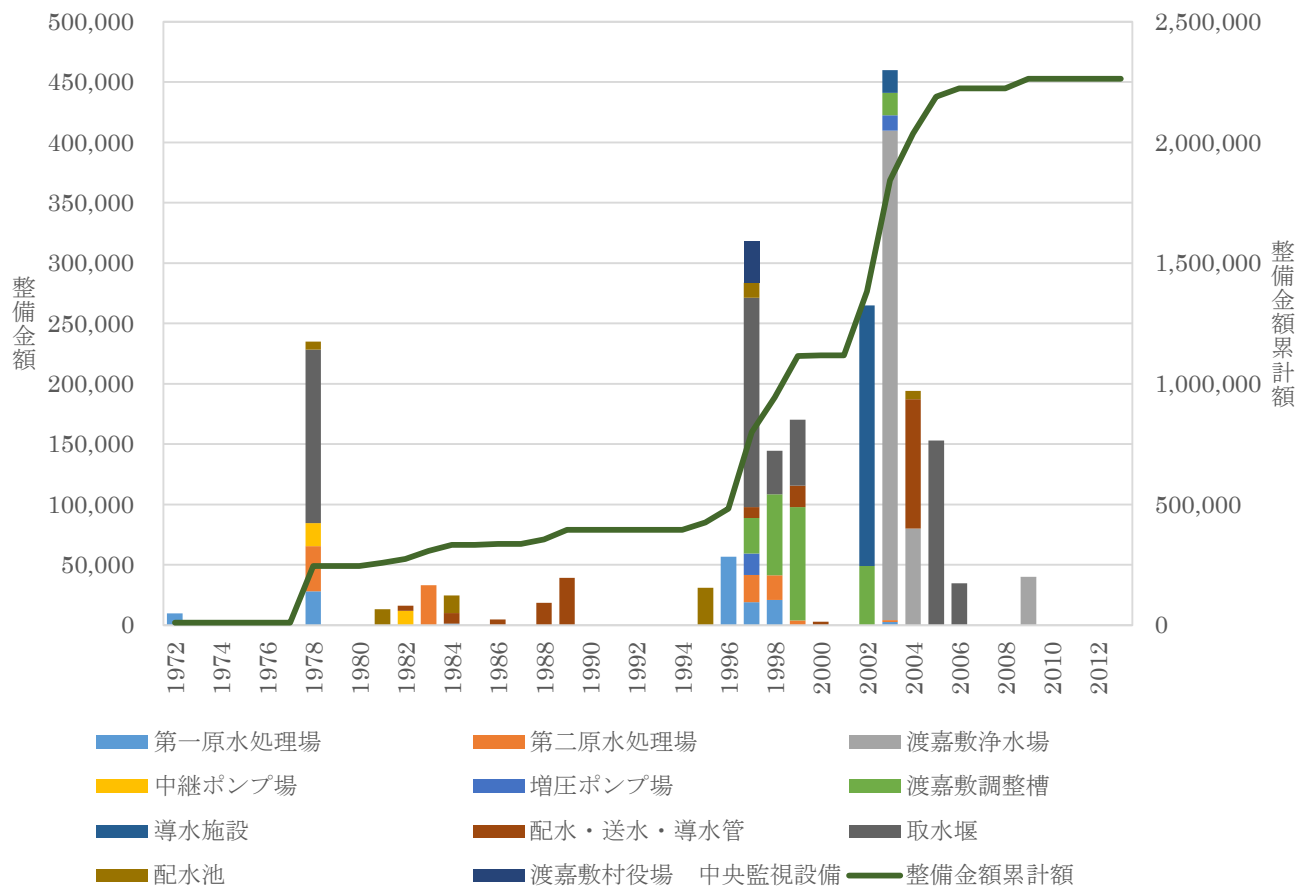


6. 上水処理施設

上水処理施設に関しては、過去の整備金額を整理すると次のようになります。

最も多額の整備を行ったのは「渡嘉敷浄水場」で、平成15年度（2003年度）に約4億6千万円、平成16年度（2004年度）に約8千万円、平成21年度（2009年度）に約4千万円かけて整備を行いました。

図表 上水処理施設の年度別整備金額（単位：千円）



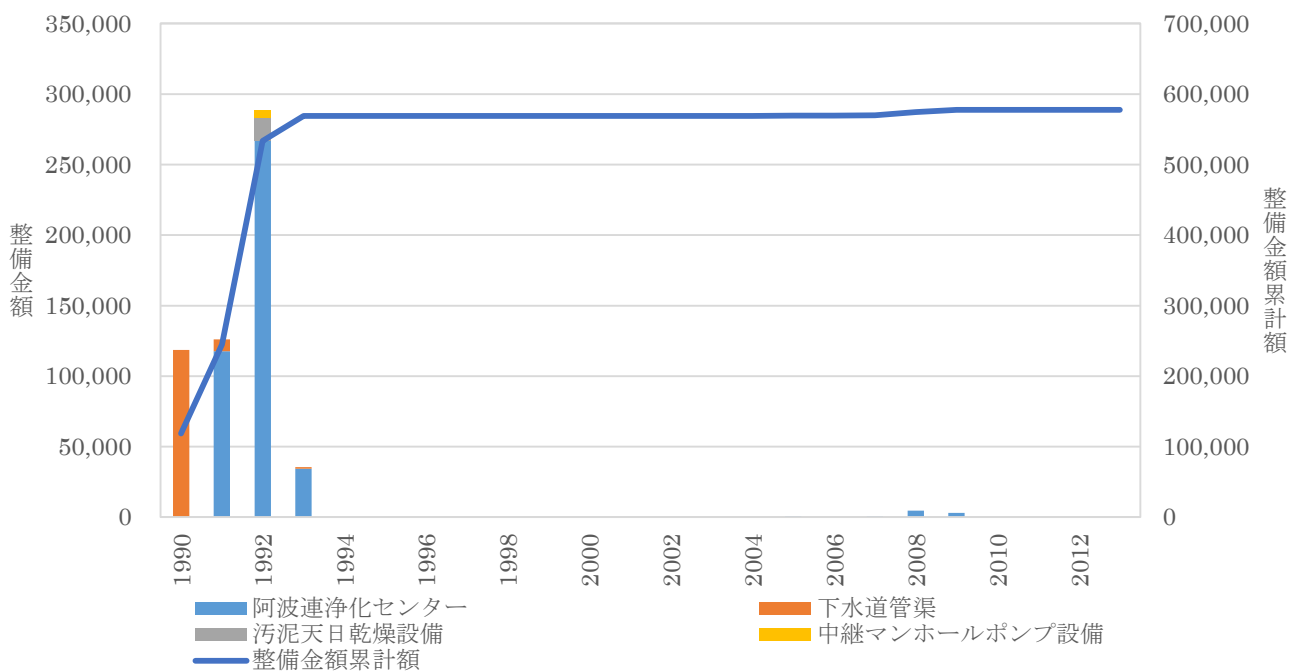
出典：固定資産台帳

7. 下水処理施設

下水処理施設の整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

下水処理施設はこれまで約6億円をかけています。整備金額が最も大きい平成4年度（1992年度）では整備金額約3億円（これまでの総整備金額の約50.0%）をかけて阿波連浄化センター等が整備されました。

図表 下水処理施設の年度別整備金額（単位：千円）



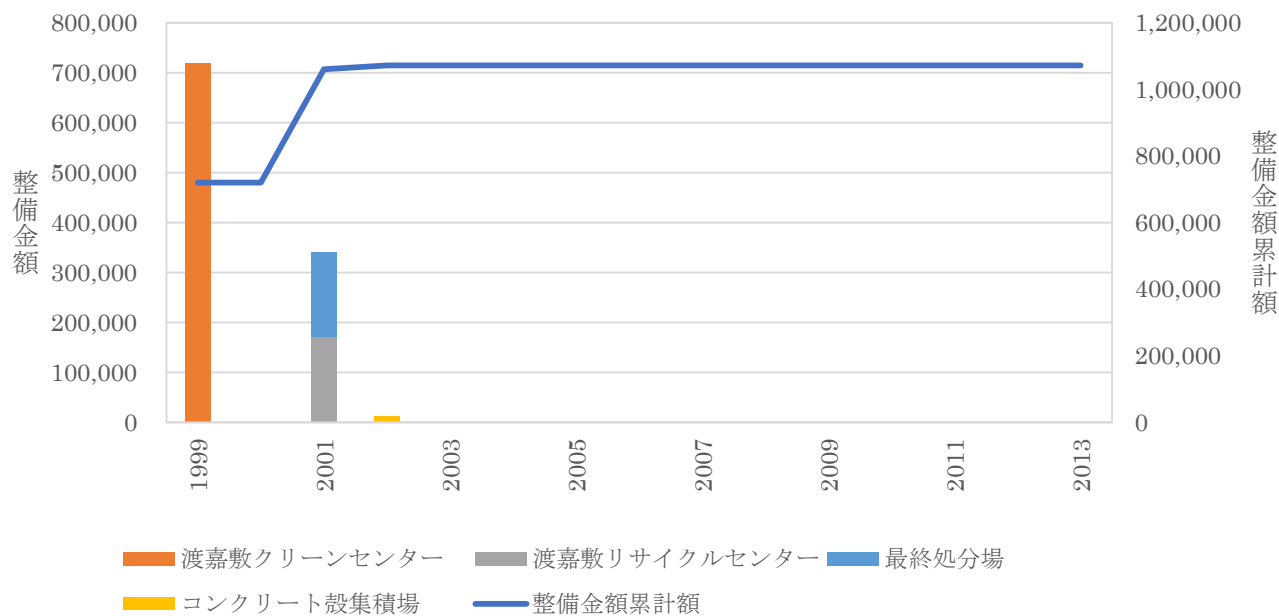
出典：固定資産台帳

8. ごみ処理施設

ゴミ処理施設の整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

平成11年度（1999年度）に整備金額約7億円をかけて、「渡嘉敷村クリーンセンター」が整備されています。

図表 ゴミ処理施設の年度別整備金額（単位：千円）



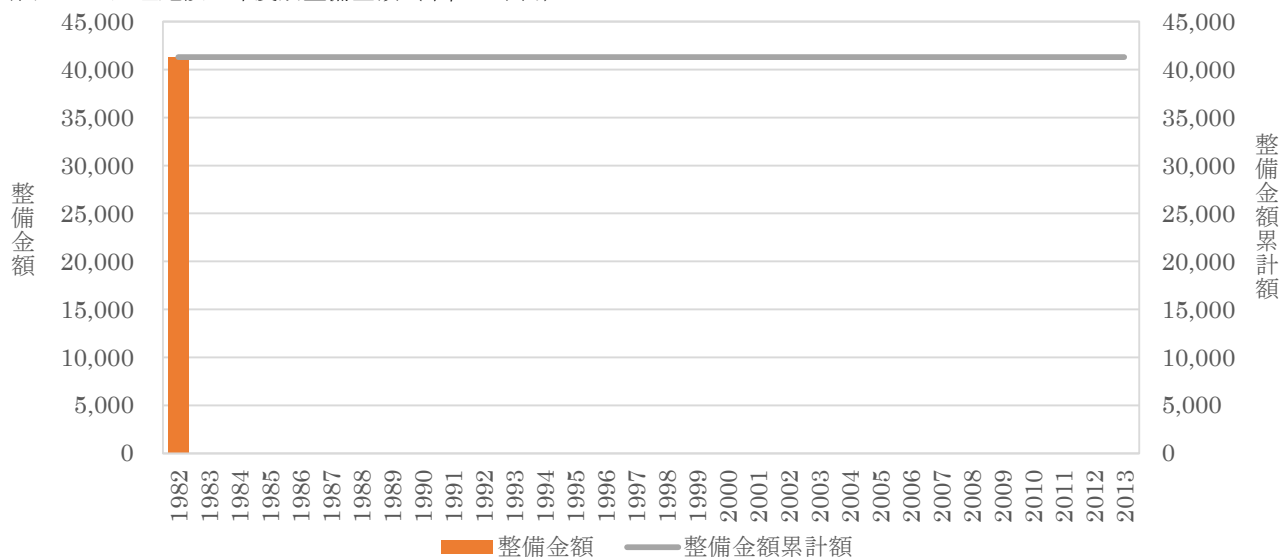
出典：固定資産台帳

9. 防火水槽

防火水槽の整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

昭和57年度（1982年度）に、阿波連地区に2基、渡嘉敷地区に3基整備されています。

図表 ゴミ処理施設の年度別整備金額（単位：千円）



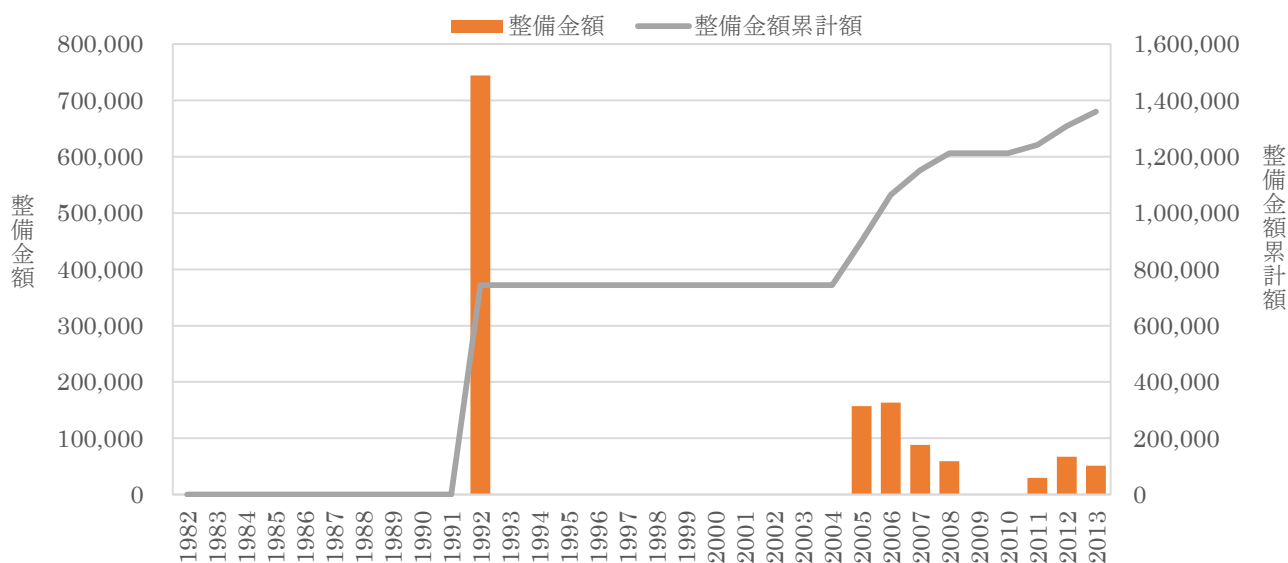
出典：固定資産台帳

10. 農業施設

農業施設の整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

平成4年度（1992年度）に、整備金額約7.5億円かけて、ファームポンド（貯水施設）が建設されています。

図表 農業施設の年度別整備金額（単位：千円）



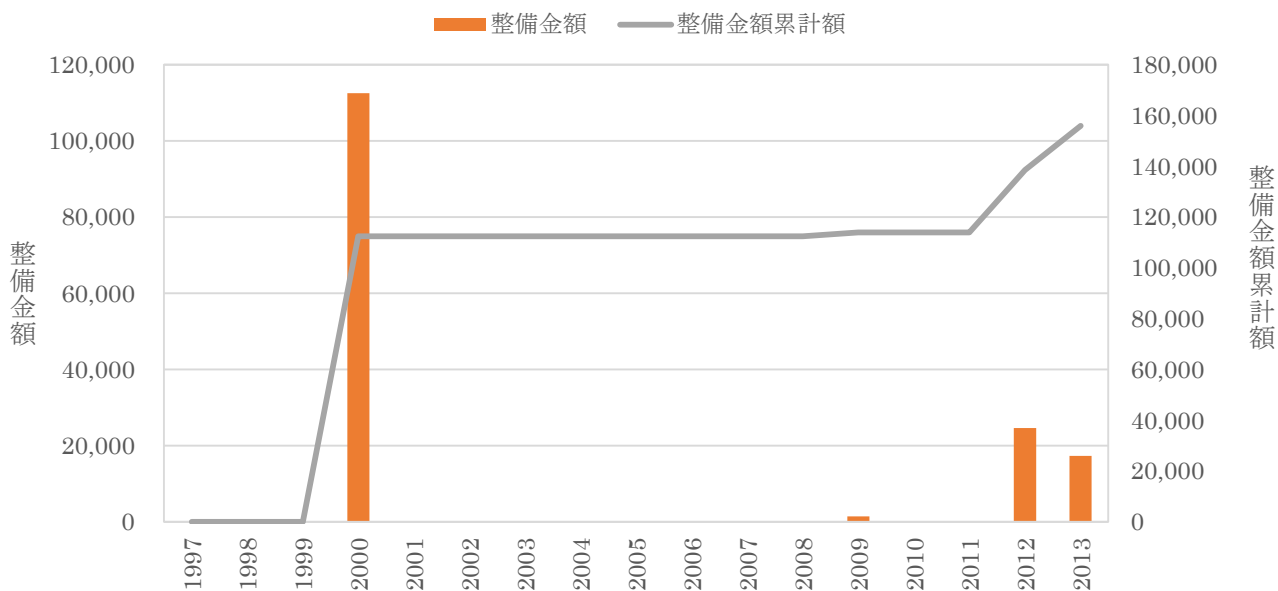
出典：固定資産台帳

1.1. その他公共施設

その他公共施設の整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

平成12年度（2000年度）に整備金額約1億1千万円をかけて「救急用ヘリポート」が整備されています。

図表 その他公共施設の年度別整備金額（単位：千円）



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

1. 行政窓口機能

(1) 施設概要

①施設一覧

行政窓口機能の施設は、「渡嘉敷村役場庁舎」のみです。延床面積は 1,462 m²です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (m ²)	階数	単独複合
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	渡嘉敷 183	平成 23 年度 (2011 年度)	1,462	3	単独

②運営状況

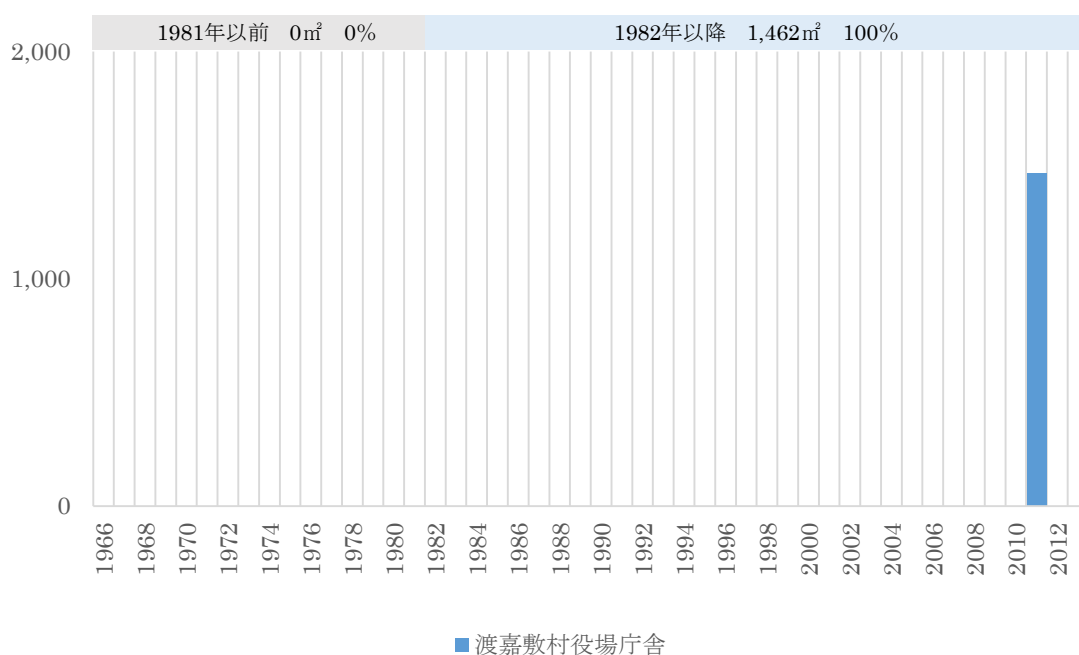
運営状況は、下図のとおりです。年間 240 日の利用が可能です。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	8:30～17:15	土・日・祝日	直営	240 日

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：m²）

出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④建物状況

平成23年度に建設された施設のため、バリアフリー等に関して全て対応されています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	—	○	○	○	○	○	○	1	○

⑤老朽化状況

平成23年度に建設された施設のため、老朽化比率は低いです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	平成23年度	410,746,476	50	2	28,061,808	6.8%

(2) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
渡嘉敷	渡嘉敷村役場庁舎	1,664,111	466,740	1,846,779	5,718,799	14,184,614	23,881,043

2. 公民館・コミュニティセンター等

(1) 施設概要

①施設一覧

公民館・コミュニティセンター等の施設は2施設あり、渡嘉敷区に「渡嘉敷中央公民館」と阿波連区に「阿波連生活館」があります。総延床面積は996㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	渡嘉敷 209	昭和52年度(1977年度)	864	3	単独
阿波連	阿波連生活館	阿波連 129	昭和51年度(1976年度)	132	1	単独

②運営状況

運営状況については、下図のとおりです。

「渡嘉敷中央公民館」は村の直営で運営されています。「阿波連生活館」は委託にて運営されています。

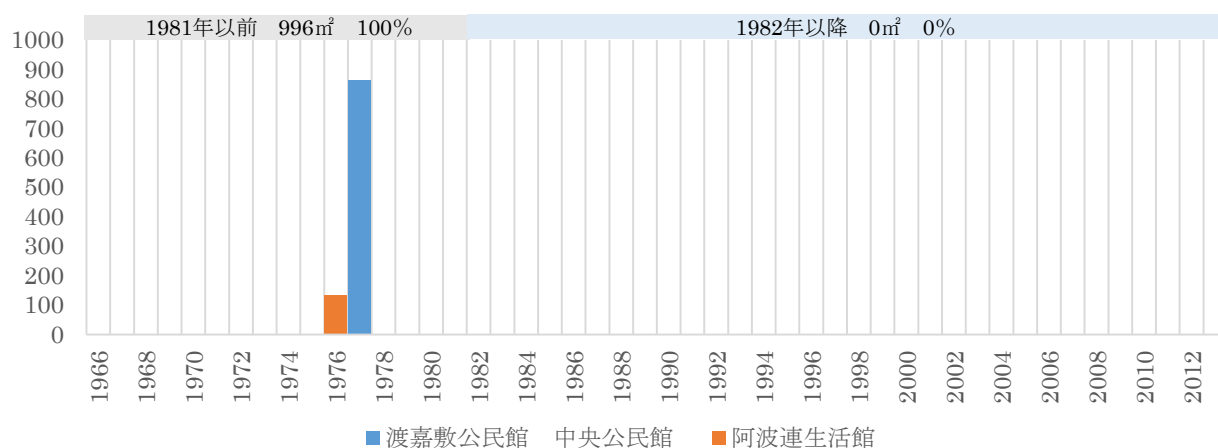
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	8:00~22:00	なし	直営	365日
阿波連	阿波連生活館	—	—	委託	365日

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況(単位:㎡)



出典: 固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④建物状況

2 施設とも 1981（昭和 56 年度）年度以前に建築されているため、耐震基準を満たしていない状況です。「渡嘉敷中央公民館」は今後、修繕・改装を検討予定です。「阿波連生活館」は災害時の避難場所に指定されており、耐震化が必要です。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	1	—	—	1	修繕・改装を検討
阿波連	阿波連生活館	1	—	1	—	

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	○	—	—	—	—	—	—	—	—
阿波連	阿波連生活館	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤老朽化状況

2 施設とも老朽化比率が 70%を超えており、検討が必要な状況です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	昭和 52 年度	224,166,523	50	36	161,399,895	72.0%
阿波連	阿波連生活館	昭和 51 年度	40,488,900	47	37	27,956,016	69.0%

（2）利用の実態

①利用状況

「渡嘉敷中央公民館」の平成 26 年度の利用者数は、8,392 人です。平成 22 年度と比較して約 2.4 倍増加しています。

図表 利用状況

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度／ H22 年度	H26 開館日 平均（人）
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	3,505	6,343	7,394	8,122	8,392	2.39	22.9
阿波連	阿波連生活館	—	—	865	789	1,253	—	3.4

（3）施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1 ㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	渡嘉敷中央公民館	0	1,279,063	58,212	4,483,330	411,083	6,231,688	864	7,213
渡嘉敷	阿波連生活館	21,841	220,955	0	755,568	82,094	1,080,458	132	8,185
合 計		21,841	1,500,018	58,212	5,238,898	493,177	7,312,146	996	15,398
平 均		10,921	750,009	29,106	2,619,449	246,589	3,656,073	499	7,699

3. 観光機能施設

(1) 施設概要

①施設一覧

観光機能施設は渡嘉敷区にある「観光案内休憩所」と「歴史民俗資料館」、阿波連区にある「青少年旅行村」と「森林公園 ログハウス」の4施設です。総延床面積は1,011㎡です。

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	観光案内休憩所	渡嘉敷 346	昭和 54 年度 (1979 年度)	260	2	複合
	歴史民俗資料館		昭和 64 年度 (1989 年度)	260		
阿波連	青少年旅行村	阿波連 112	昭和 50 年度 (1975 年度)	406	1	単独
	森林公園 ログハウス	阿波連 572	平成 8 年度 (1996 年度)	85	1	単独

※観光案内休憩所の2Fが歴史民俗資料館となっています。

③ 運営状況

「青少年旅行村」と「森林公園 ログハウス」は指定管理で運営されています。

図表 運営状況

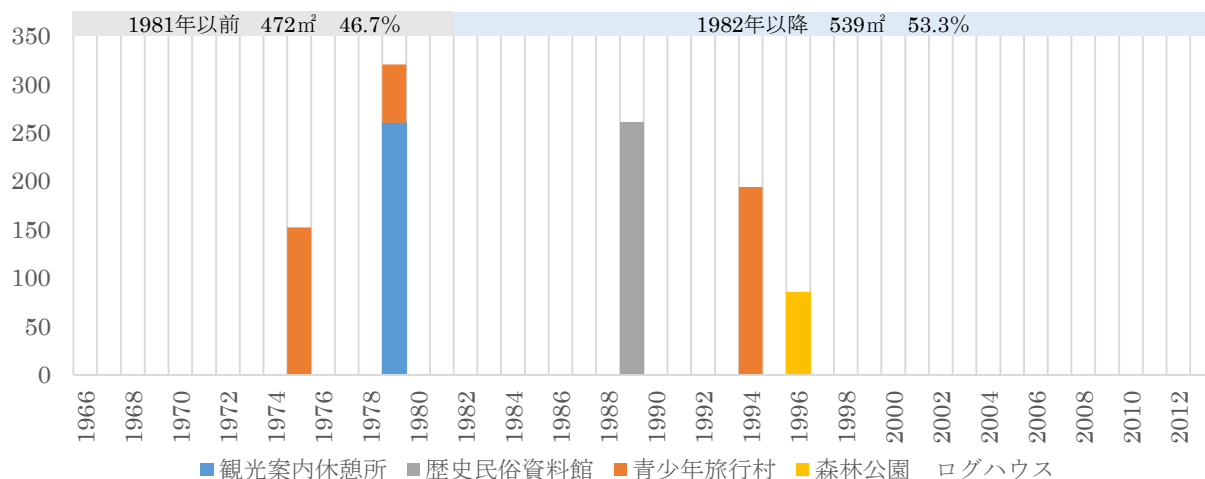
地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	観光案内休憩所	8:30~18:00	なし	その他	365日
阿波連	青少年旅行村	8:30~18:00	なし	指定管理	365日
	森林公園 ログハウス	0:00~24:00	なし	指定管理	365日

※歴史民俗資料館は事前予約が必要となっています。

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況 (単位: ㎡)



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④ 建物状況

「観光案内休憩所」、「歴史民俗資料館」と「森林公園 ログハウス」の3施設は、耐震基準を満たしています。「青少年旅行村」は平成28年度にトイレ施設の改修工事を実施しており、車いす、ベビーシート、授乳室を設置し、機能の強化をおこなっています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	観光案内休憩所	1	1	—	—	なし
	歴史民俗資料館	1	1	—	—	
阿波連	青少年旅行村	1	—	1	—	—
	森林公園 ログハウス	2	2	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	観光案内休憩所	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	歴史民俗資料館	○	—	—	—	—	—	—	—	—
阿波連	青少年旅行村	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	森林公園 ログハウス	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤ 老朽化状況

「青少年旅行村」内のトイレ・シャワー施設は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。また「観光案内休憩所」は、老朽化比率が60%を超えており更新等の検討時期になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	観光案内休憩所	昭和55年度	59,616,000	50	34	40,538,880	68.0%
	歴史民俗資料館	昭和64年度	41,751,050	50	24	20,040,504	48.0%
阿波連	青少年旅行村	昭和50年度	125,193,153	50	38	80,839,892	64.6%
	森林公園 ログハウス	平成8年度	54,766,678	47	17	19,156,072	35.0%

(2) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	観光案内休憩所 歴史民俗資料館	65,550	255,072	9,949	2,027,341	185,890	2,543,802	520	4,892
阿波連	青少年旅行村	5,400,880	1,507,945	1,187,507	7,756,553	3,627,210	19,480,095	406	47,981
	森林公園 ログハウス	536,229	226,800	0	1,437,999	131,852	2,332,880	85	27,127
合 計		6,002,659	1,989,817	1,197,456	11,221,893	3,944,952	24,356,777	1,011	80,000
平 均		2,000,886	663,272	399,152	3,740,631	1,314,984	8,118,926	337	26,666

※「観光案内休憩所」と「歴史民俗資料館」は同一の施設であるためまとめて計算しています。

4. 保健・福祉施設

(1) 施設概要

①施設一覧

保健・福祉施設は、4施設あります。渡嘉敷区に全てあります。総延床面積は、997 m²です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (m ²)	階数	単独 複合
渡嘉敷	へき地保健指導所	渡嘉敷 209	昭和 55 年度 (1980 年度)	88	1	単独
	渡嘉敷村歯科診療所	渡嘉敷 209	昭和 49 年度 (1974 年度)	83	1	単独
	高齢者生活福祉センター	渡嘉敷 747	平成 6 年度 (1994 年度)	730	1	単独
	渡嘉敷理容・美容館	渡嘉敷 215	昭和 56 年度 (1981 年度)	96	1	単独

②運営状況

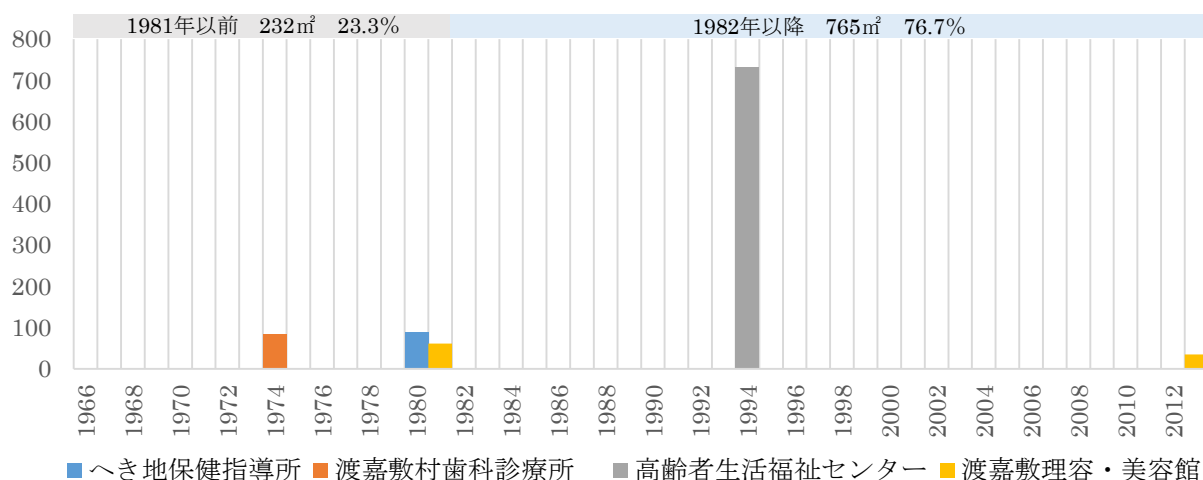
運営状況は、下図の通りです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	へき地保健指導所	8:30~17:15	土日祝	直営	240 日
	渡嘉敷村歯科診療所	土 9:00~12:00 日 13:00~20:00	月~金	委託	96 日
	高齢者生活福祉センター	8:30~17:15	土日祝	委託	240 日
	渡嘉敷理容・美容館	8:30~17:15	不定期	委託	—

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況 (単位: m²)

出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④建物状況

「高齢者生活福祉センター」は耐震基準に適合しており、バリアフリー等の機能も一部対応済みです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	へき地保健指導所	1	—	1	—	—
	渡嘉敷村歯科診療所	1	—	1	—	—
	高齢者生活福祉センター	1	1	—	—	—
	渡嘉敷理容・美容館	1	—	1	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	へき地保健指導所	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷村歯科診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高齢者生活福祉センター	○	—	—	○	—	—	○	1	—
	渡嘉敷理容・美容館	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

「渡嘉敷村歯科診療所」は老朽化比率が 80%を超えており、早急に検討が必要です。

「高齢者生活福祉センター」も老朽化比率が 60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
渡嘉敷	へき地保健指導所	昭和 55 年度	9,326,000	38	33	2,968,688	31.8%
	渡嘉敷村歯科診療所	昭和 49 年度	1,108,000	38	39	1,107,999	100.0%
	高齢者生活福祉センター	平成 6 年度	239,955,000	47	19	145,272,325	60.5%
	渡嘉敷理容・美容館	昭和 56 年度	20,467,150	47	32	8,768,320	42.8%

(2) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況 (単位:円)

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1 ㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	へき地保健指導所	9,461,330	230,084	186,515	85,106	22,489	9,985,524	88	113,472
	渡嘉敷村歯科診療所	1,109,886	506,975	1,280,160	665	0	2,897,686	83	35,996
	高齢者生活福祉センター	7,970,815	0	27,988,550	3,361,139	452,994	39,773,498	730	54,484
	渡嘉敷理容・美容館	85,713	70,229	39,114	274,010	43,990	513,056	96	5,344
合 計		18,627,744	807,288	29,494,339	3,720,920	519,473	53,169,764	997	209,296
平 均		4,656,936	201,822	7,373,585	930,230	129,868	13,292,441	249	52,324

5. 学校教育機能（小学校・中学校）

（1）施設概要

①施設一覧

学校教育機能（小学校・中学校）の施設は、4施設あります。小学校2校、中学校1校、学校給食共同調理場1施設です。総延床面積は、5,028㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	渡嘉敷 355	昭和 54 年度（1979 年度）	958	2	単独
	渡嘉敷中学校	渡嘉敷 355	昭和 60 年度（1985 年度）	2,247	2	単独
	学校給食共同調理場	渡嘉敷 355	平成 16 年度（2004 年度）	233	1	単独
阿波連	阿波連小学校	阿波連 160	昭和 53 年度（1978 年度）	1,590	2	単独

②運営状況

運営状況は、下図の通りです。

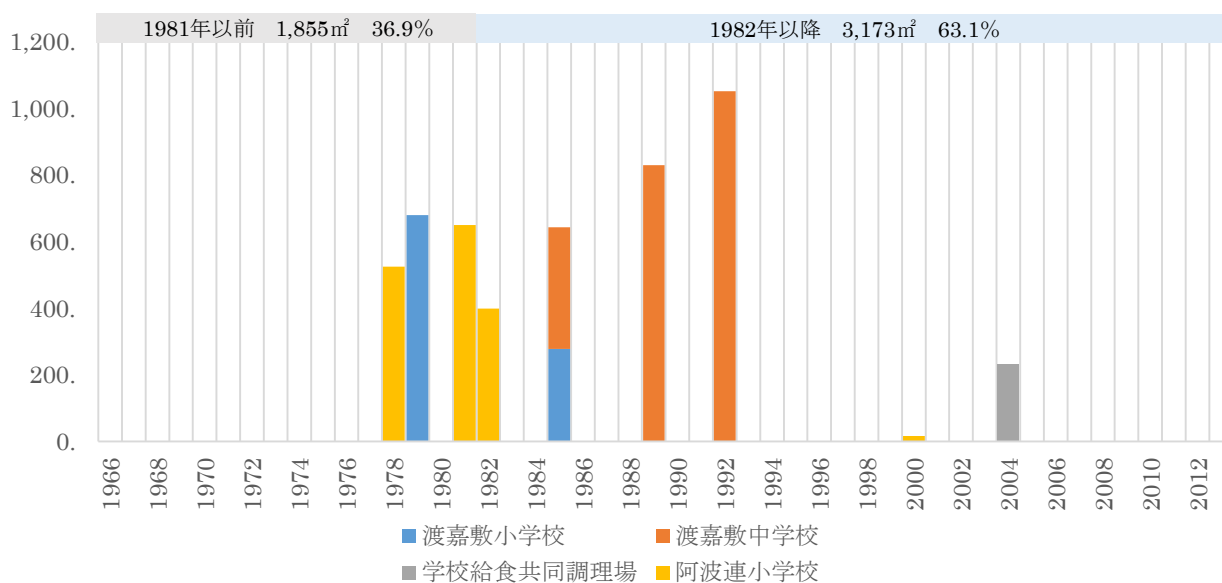
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	8：30～16：30	土日祝	直営	200 日
	渡嘉敷中学校				
	学校給食共同調理場				
阿波連	阿波連小学校				

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	1	—	1	—	—
	渡嘉敷中学校	3	—	—	3	—
	学校給食共同調理場	1	—	—	1	—
阿波連	阿波連小学校	3	—	—	3	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学校給食共同調理場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿波連	阿波連小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤老朽化状況

「阿波連小学校」は老朽化比率が 60%を超えており、更新等の検討時期になっています。「渡嘉敷小学校」は平成 26 年度に建替えを実施しております。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	昭和 54 年度	218,968,580	47	34	149,000,043	68.0%
	渡嘉敷中学校	昭和 60 年度	519,370,160	47	28	275,448,081	53.0%
	学校給食共同調理場	平成 16 年度	201,953,000	41	9	44,167,118	21.9%
阿波連	阿波連小学校	昭和 53 年度	378,009,980	47	35	260,027,685	68.8%

(2) 利用の実態

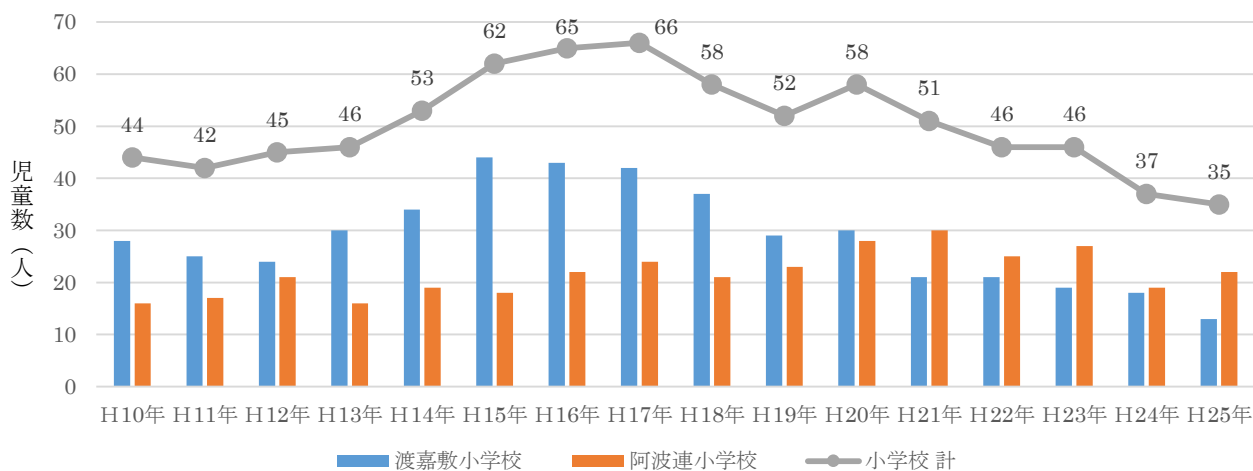
①利用状況

■小学校

小学校2校の児童数は、平成17年度（2005年度）ピークに減少傾向にあります。

図表 小学校児童数推移表（単位：人）

施設名称	H10年 (1998)	H11年 (1999)	H12年 (2000)	H13年 (2001)	H14年 (2002)	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)	H18年 (2006)	H19年 (2007)	H20年 (2008)	H21年 (2009)	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)
渡嘉敷	28	25	24	30	34	44	43	42	37	29	30	21	21	19	18	13
阿波連	16	17	21	16	19	18	22	24	21	23	28	30	25	27	19	22
合計	44	42	45	46	53	62	65	66	58	52	58	51	46	46	37	35

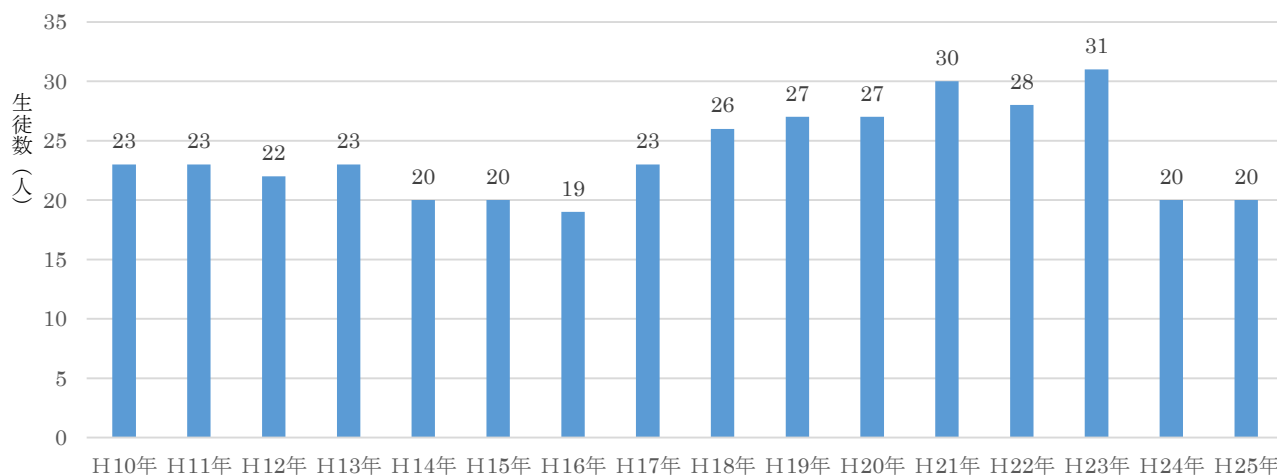


■中学校

中学校の生徒数は下図の通りです。約20人から30人の枠内で推移しています。

図表 中学校生徒数推移表（単位：人）

施設名称	H10年 (1998)	H11年 (1999)	H12年 (2000)	H13年 (2001)	H14年 (2002)	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)	H18年 (2006)	H19年 (2007)	H20年 (2008)	H21年 (2009)	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)
渡嘉敷	23	23	22	23	20	20	19	23	26	27	27	30	28	31	20	20



第4章 機能別の現状と分析

(3) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額	児童・生徒数	1人当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	渡嘉敷小学校	3,464,480	4,843,801	1,107,657	4,642,133	593,127	14,651,198	13	1,127,015
	渡嘉敷中学校	1,131,450	1,927,128	1,293,808	10,305,385	2,700,996	17,358,767	20	867,938
	学校給食共同調理場	10,795,924	5,876,898	1,129,448	4,907,457	449,972	23,159,699	—	—
阿波連	阿波連小学校	9,139,271	2,805,481	735,431	7,875,651	2,561,864	23,117,698	22	1,050,804
合 計		24,531,125	15,453,308	4,266,344	27,730,626	6,305,959	78,287,362	—	—
平 均		6,132,781	3,863,327	1,066,586	6,932,657	1,576,490	19,571,841	—	—

※児童・生徒数は、平成25年度時点

6. 子育て支援施設（保育所・幼稚園）

(1) 施設概要

①施設一覧

子育て支援施設（保育所・幼稚園）の施設は2施設あります。幼稚園1施設、保育所1施設です。総延床面積は351㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	渡嘉敷 209	昭和 45 年度 (1970 年度)	148	1	単独
	渡嘉敷幼稚園	渡嘉敷 355	昭和 55 年度 (1980 年度)	203	1	単独

②運営状況

運営状況は以下のとおりです。

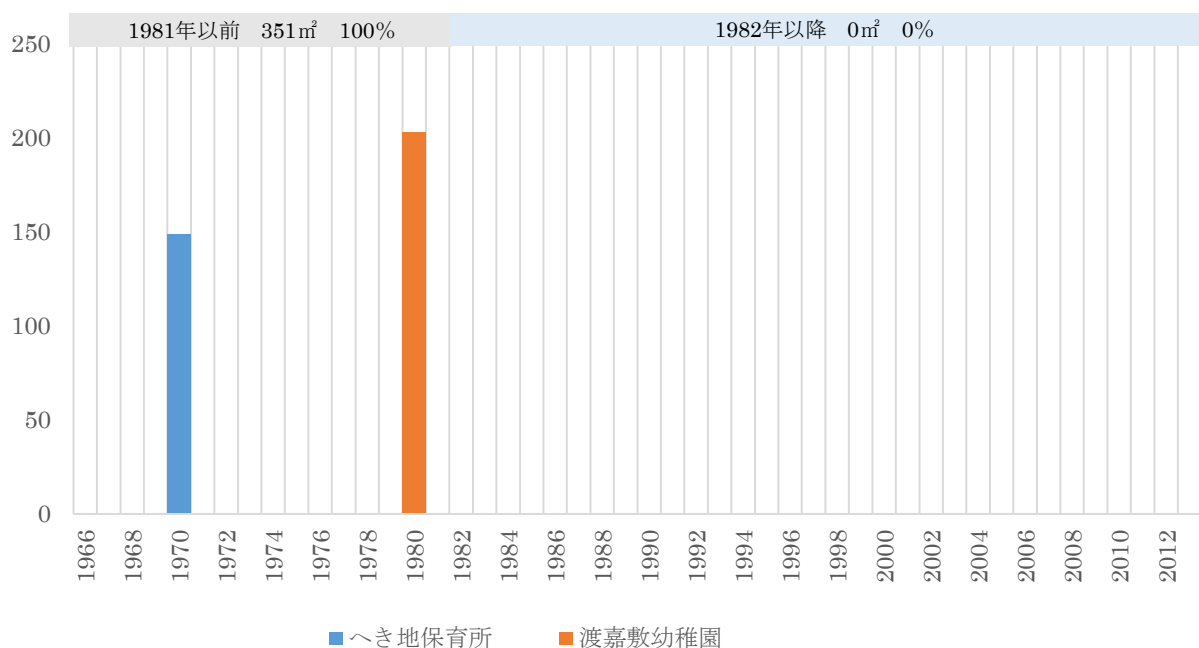
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	8：30～15：15	土日祝	直営	200 日
	渡嘉敷幼稚園				

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

④建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	1	—	1	—	—
	渡嘉敷幼稚園	1	—	—	1	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤老朽化状況

「渡嘉敷村へき地保育所」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。また、「渡嘉敷幼稚園」も老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	昭和45年	5,724,954	47	43	5,218,867	91.1%
	渡嘉敷幼稚園	昭和55年	43,645,000	47	33	30,534,042	70.0%

(2) 利用の実態

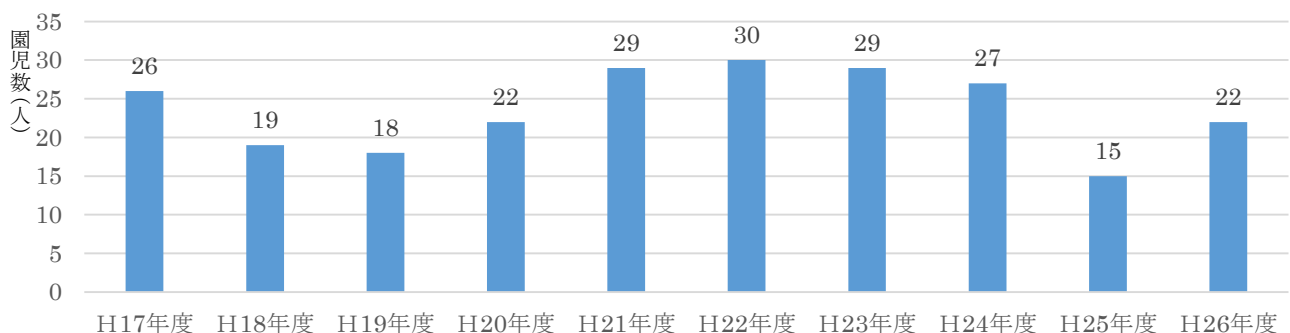
①利用状況

■保育所

「渡嘉敷村へき地保育所」の園児数は下図の通りです。15人から30人の枠内で推移しています。

図表 保育所児数推移表（単位：人）

施設名称	H17年 (2005)	H18年 (2006)	H19年 (2007)	H20年 (2008)	H21年 (2009)	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)
渡嘉敷村へき地保育所	26	19	18	22	29	30	29	27	15	22

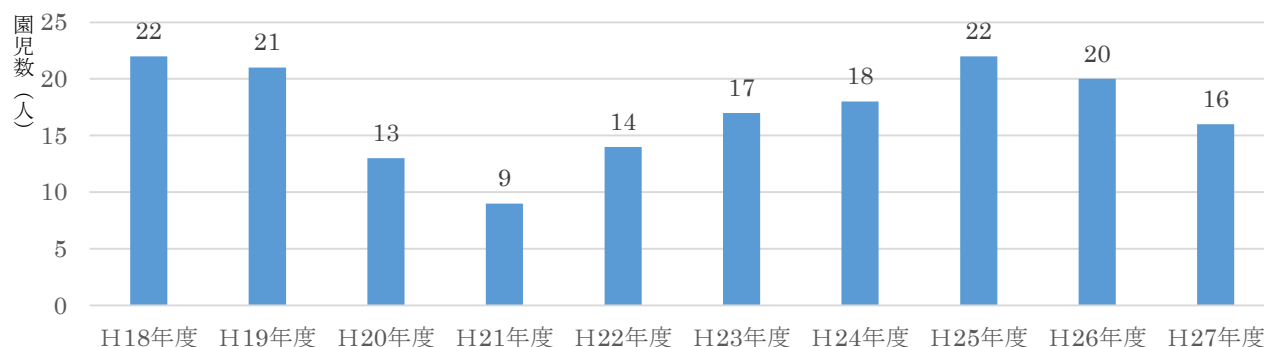


■幼稚園

「渡嘉敷幼稚園」の園児数は平成21年度（2009年度）に9人にまで減少していましたが、直近の5年間では20人前後で推移しています。

図表 幼稚園児数推移表（単位：人）

施設名称	H18年 (2006)	H19年 (2007)	H20年 (2008)	H21年 (2009)	H22年 (2010)	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)
渡嘉敷幼稚園	22	21	13	9	14	17	18	22	20	16



（3）施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額	園児数	園児1人 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	渡嘉敷村へき地保育所	21,473,939	1,028,046	582,154	121,369	11,129	23,216,637	15	1,547,776
	渡嘉敷幼稚園	17,010,847	769,018	380,620	925,274	84,840	19,170,599	22	871,391
合 計		38,484,786	1,797,064	962,774	1,046,643	95,969	42,387,236	37	2,419,167
平 均		19,242,393	898,532	481,387	523,322	47,985	21,193,618	19	1,209,583

※園児数は、平成25年度時点です。

7.住宅環境

(1) 施設概要

①施設一覧

住宅環境の施設は14施設あります。渡嘉敷区に8施設、阿波連区に6施設あります。総延床面積は7,479㎡です。

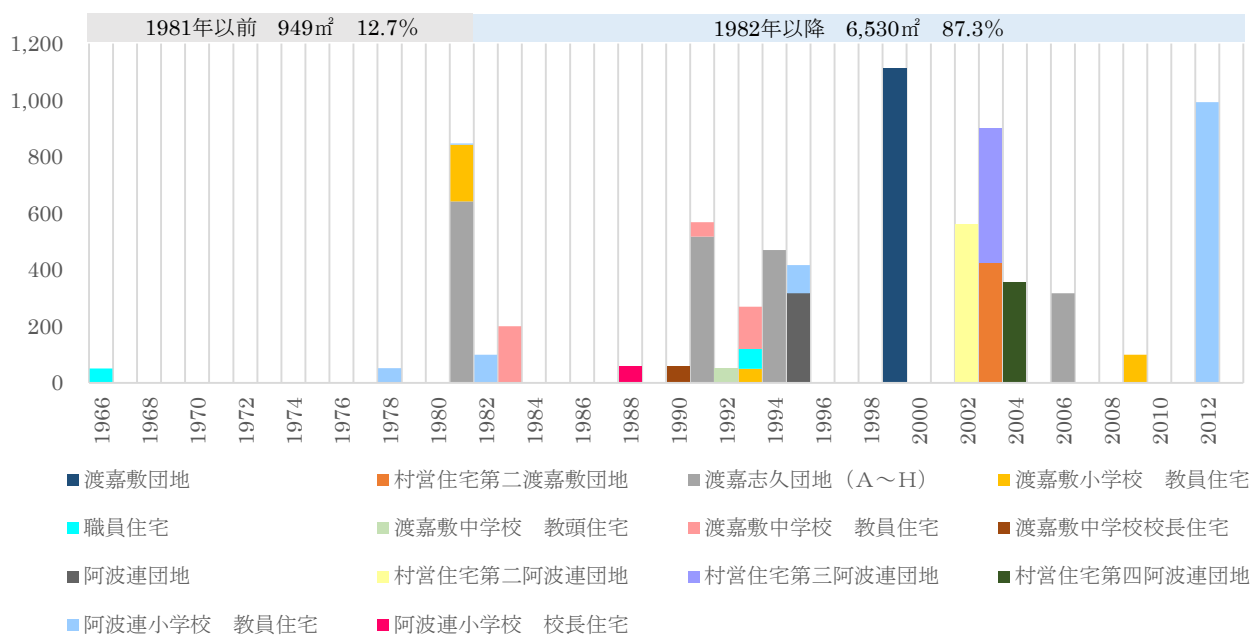
図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	渡嘉敷団地	渡嘉敷 108	平成 11 年度 (1999 年度)	1,113	3	単独
	村営住宅第二渡嘉敷団地	渡嘉敷 1728	平成 15 年度 (2003 年度)	424	2	単独
	渡嘉志久団地 (A～H)	渡嘉敷 1918-1,918-2,1923-2	昭和 56 年度 (1981 年度)	1,946	2	単独
	渡嘉敷小学校 教員住宅	渡嘉敷 117,323-6	昭和 56 年度 (1981 年度)	350	2	単独
	職員住宅	渡嘉敷 267,323-4	昭和 41 年度 (1966 年度)	120	1	単独
	渡嘉敷中学校 教頭住宅	渡嘉敷 163	平成 4 年度 (1992 年度)	50	1	単独
	渡嘉敷中学校 教員住宅	渡嘉敷 274,323-3,323-6	昭和 58 年度 (1983 年度)	400	1	単独
	渡嘉敷中学校 校長住宅	渡嘉敷 62	平成 2 年度 (1990 年度)	60	1	単独
阿波連	阿波連団地	阿波連 1	平成 7 年度 (1995 年度)	316	1	単独
	村営住宅第二阿波連団地	阿波連 158-16	平成 14 年度 (2002 年度)	560	3	単独
	村営住宅第三阿波連団地	阿波連 116-1	平成 15 年度 (2003 年度)	476	3	単独
	村営住宅第四阿波連団地	阿波連 116-1	平成 16 年度 (2004 年度)	356	3	単独
	阿波連小学校 教員住宅	阿波連 14,130,174-1	昭和 53 年度 (1978 年度)	1,248	1	単独
	阿波連小学校 校長住宅	阿波連 89	昭和 63 年度 (1988 年度)	60	1	単独

②築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況 (単位: ㎡)



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

③建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷団地	2	2	—	—	—
	村営住宅第二渡嘉敷団地	1	1	—	—	—
	渡嘉志久団地（A～H）	8	5	—	—	3
	渡嘉敷小学校 教員住宅	3	2	—	—	1
	職員住宅	2	1	—	—	1
	渡嘉敷中学校 教頭住宅	1	1	—	—	—
	渡嘉敷中学校 教員住宅	3	3	—	—	—
	渡嘉敷中学校 校長住宅	1	1	—	—	—
阿波連	阿波連団地	1	1	—	—	—
	村営住宅第二阿波連団地	3	3	—	—	—
	村営住宅第三阿波連団地	1	1	—	—	—
	村営住宅第四阿波連団地	1	1	—	—	—
	阿波連小学校 教員住宅	5	3	—	—	2
	阿波連小学校 校長住宅	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷団地	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	村営住宅第二渡嘉敷団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉志久団地（A～H）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷小学校 教員住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	職員住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷中学校 教頭住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷中学校 教員住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷中学校 校長住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
阿波連	阿波連団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村営住宅第二阿波連団地	○	—	—	○	—	—	—	—	—
	村営住宅第三阿波連団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村営住宅第四阿波連団地	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	阿波連小学校 教員住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	阿波連小学校 校長住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第4章 機能別の現状と分析

④老朽化状況

住宅機能の老朽化状況は下図のとおりです。

「渡嘉志久団地」はA棟・B棟・C棟を表しています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷団地	平成 11 年度	260,331,750	47	14	77,266,460	29.7%
	村営住宅第二渡嘉敷団地	平成 15 年度	89,419,014	47	10	28,916,827	32.3%
	渡嘉志久団地（A～H）	昭和 56 年度	421,252,228	47	32	203,705,834	48.4%
	渡嘉敷小学校 教員住宅	昭和 56 年度	85,391,850	47	32	33,254,133	38.9%
	職員住宅	昭和 41 年度	3,463,000	47	47	1,733,331	50.1%
	渡嘉敷中学校 教頭住宅	平成 4 年度	12,220,950	47	21	5,440,766	44.5%
	渡嘉敷中学校 教員住宅	昭和 58 年度	98,047,500	47	30	52,432,407	53.5%
	渡嘉敷中学校 校長住宅	平成 2 年度	13,369,030	47	23	6,518,737	48.8%
阿波連	阿波連団地	平成 7 年度	67,304,000	47	18	25,683,204	38.2%
	村営住宅第二阿波連団地	平成 14 年度	142,683,142	47	11	42,974,895	30.1%
	村営住宅第三阿波連団地	平成 15 年度	101,505,425	47	10	28,322,635	27.9%
	村営住宅第四阿波連団地	平成 16 年度	86,334,006	47	9	22,464,737	26.0%
	阿波連小学校 教員住宅	昭和 53 年度	95,760,220	47	35	44,218,384	46.2%
	阿波連小学校 校長住宅	昭和 63 年度	13,975,000	47	25	7,406,750	53.0%

（2）施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	渡嘉敷団地	793,440	0	14,989	5,519,032	506,048	6,833,509	1,113	6,140
	村営住宅第二渡嘉敷団地	285,838	0	5,400	2,891,682	286,677	3,469,597	424	8,183
	渡嘉志久団地（A～H）	1,301,898	0	24,594	9,402,043	891,151	11,619,686	1,946	5,971
	渡嘉敷小学校 教員住宅	0	4,506	175,454	1,810,306	165,990	2,156,256	350	6,161
	職員住宅	10,555	0	199	73,415	5,832	90,001	120	750
	渡嘉敷中学校 教頭住宅	0	584	22,728	259,084	23,756	306,152	50	6,123
	渡嘉敷中学校 教員住宅	0	4,506	175,454	2,078,606	915,270	3,173,836	400	7,935
	渡嘉敷中学校 校長住宅	0	630	24,538	283,423	25,987	334,578	60	5,576
阿波連	阿波連団地	205,129	0	3,875	1,426,844	130,829	1,766,677	316	5,591
	村営住宅第二阿波連団地	487,591	0	9,211	4,089,186	437,525	5,023,513	560	8,971
	村営住宅第三阿波連団地	354,198	0	6,691	2,970,479	333,507	3,664,875	476	7,699
	村営住宅第四阿波連団地	278,449	0	5,260	2,335,217	245,499	2,864,425	356	8,046
	阿波連小学校 教員住宅	0	224	26,813	1,246,563	169,205	1,442,805	1,248	1,156
	阿波連小学校 校長住宅	0	2,116	253,187	296,270	27,165	578,738	60	9,646
合 計		3,717,098	12,566	748,393	34,682,150	4,164,441	43,324,648	7,479	87,948
平 均		265,507	898	53,457	2,477,296	297,460	3,094,618	534	6,282

8. 消防・防災施設

(1) 施設概要

①施設一覧

消防・防災の施設は、渡嘉敷区に1施設あります。延床面積は114㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	消防車庫	渡嘉敷 210	昭和 57 年 (1982 年)	114	1	単独

②建物状況

「消防車庫」は昭和 57 年度（1982 年度）に建築しており、耐震基準を満たしています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	消防車庫	1	1	—	—	—

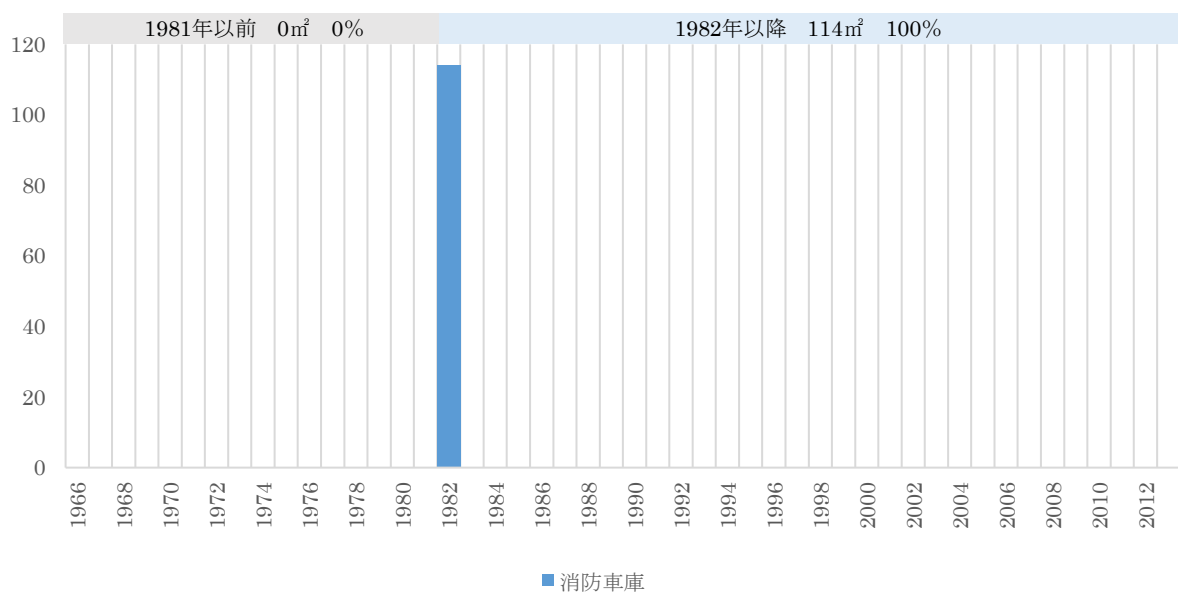
図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	消防車庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④老朽化状況

「消防車庫」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	消防車庫	昭和57年度	17,862,204	38	31	14,563,052	81.5%

(2) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況（単位：円）

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
渡嘉敷	消防車庫	4,736,344	129,518	1,718,194	469,775	43,074	7,096,905

9. 農林水産施設

(1) 施設概要

①施設一覧

農林水産施設は、渡嘉敷区に4施設あります。総延床面積は650㎡です。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	渡嘉敷 1918-1	平成 15 年度(2003 年度)	220	1	単独
	共同処理加工場	渡嘉敷 286	昭和 61 年度(1986 年度)	80	1	単独
	集出荷場	渡嘉敷 770-2	平成 4 年度(1992 年度)	199	1	単独
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	渡嘉敷 773	平成 13 年度(2003 年度)	151	1	単独

②運営状況

全ての施設は、村の直営で運営しています。

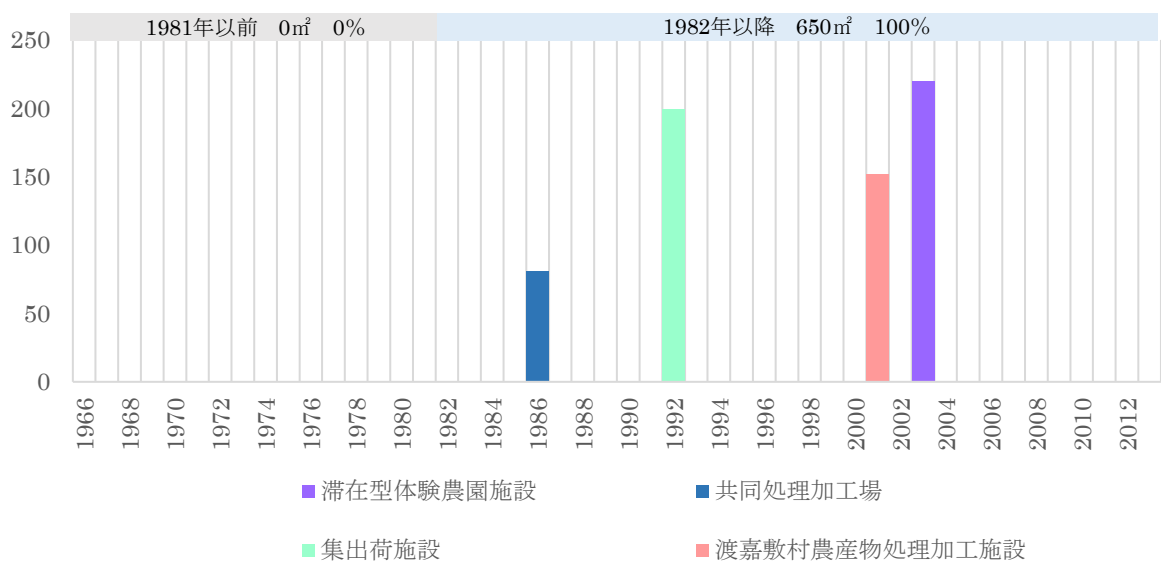
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	終日	土日祝	直営	240 日
	共同処理加工場	8:30~17:15	土日祝	直営	240 日
	集出荷場	8:30~17:15	土日祝	直営	240 日
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	8:30~17:15	土日祝	直営	240 日

③築年別整備状況

築年別整備状況は、下図のとおりです。

図表 築年別整備状況(単位:㎡)



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

④建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	5	5	—	—	—
	共同処理加工場	1	1	—	—	—
	集出荷場	1	1	—	—	—
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	1	1	—	—	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	共同処理加工場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	集出荷場	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑤老朽化状況

「共同処理加工場」と「集出荷施設」は、老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	平成15年度	87,173,953	47	10	25,393,289	29.1%
	共同処理加工場	昭和61年度	23,316,200	38	27	16,556,833	71.0%
	集出荷場	平成4年度	37,554,293	38	21	22,859,677	60.9%
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	平成13年度	42,598,500	38	12	18,507,715	43.4%

(3) 施設コストの実態

図表 稼働コスト状況(単位:円)

地区	施設名称	施設費用					総額	延床面積 (㎡)	1㎡ 当たり
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費			
渡嘉敷	滞在型体験農園施設	4,021,490	386,042	729,959	2,665,485	259,499	8,062,475	220	36,648
	共同処理加工場	106,459	315,384	168,251	613,216	5,097,928	6,301,238	80	78,765
	集出荷場	2,244,862	215,495	407,476	863,230	79,151	3,810,214	199	19,147
	渡嘉敷村農産物処理加工施設	271,685	804,866	429,381	1,542,308	5,719,506	8,767,746	151	58,065
合 計		6,644,496	1,721,787	1,735,067	5,684,239	11,156,084	26,941,673	650	192,625
平 均		1,661,124	430,447	433,767	1,421,060	2,789,021	6,735,418	163	48,156

第4章 機能別の現状と分析

10. その他施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他施設は、渡嘉敷区に1施設あります。比較的新しい施設のため、老朽化はあまり進んでいません。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	渡嘉敷 2703	平成 15 年度 (2003 年度)	1680.72	5	1	

②設置目的等

図表 設置目的等

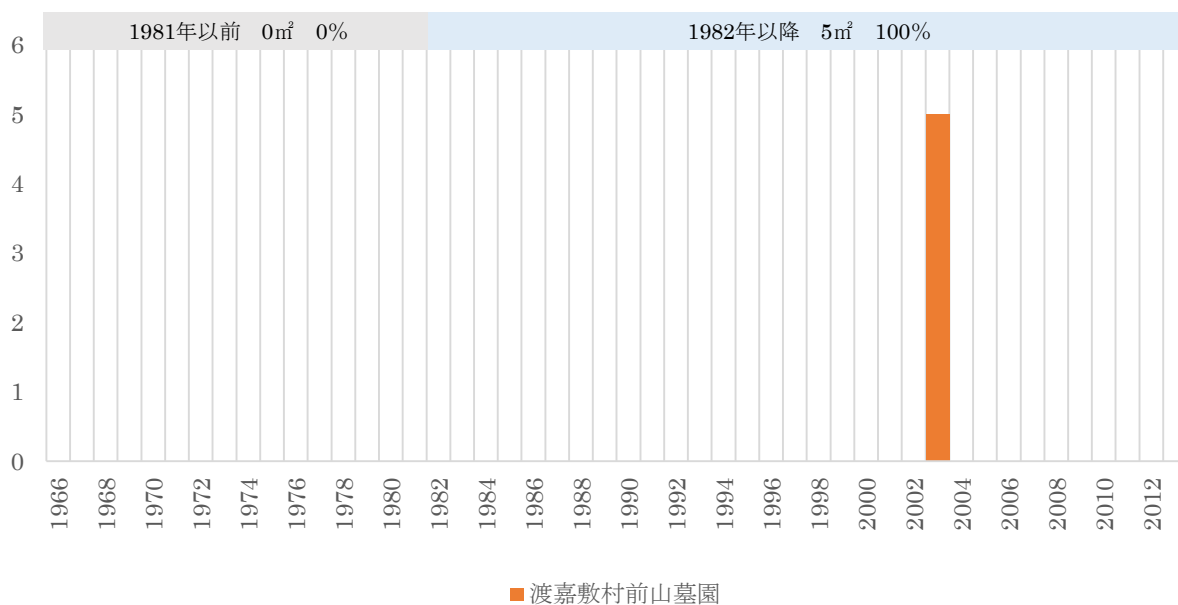
地区	施設名称	設置目的
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	渡嘉敷村墓地の設置及び管理について必要な事項を定める。

③運営状況

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	8：30～17：15	不定期	直営	—

⑤ 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：固定資産台帳

第4章 機能別の現状と分析

⑤建物状況

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	2	—	—	2	—

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	—	—	—	—	—	—	—	—	—

⑥老朽化状況

図表 老朽化状況

地区	施設名称	取得年度	取得金額	耐用年数	経過年数	減価償却 累計額	老朽化比率
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	平成 15 年度	13,757,289	50	10	2,751,455	20%

(2) 利用の実態

利用状況はここ数年大きな変化はありません。

①利用状況

図表 利用状況

地区	施設名称	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26 年度／ H22 年度	H26 開館日 平均 (人)
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	55	55	60	60	60	—	—

②稼働状況

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率	年間利用 人数
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	納骨堂	5	—	—	—	—	58

(3) 施設コストの実態

基本的にコストはかかっていない状況です。

図表 稼働コスト状況 (単位：円)

地区	施設名称	施設費用					総額
		人件費	物件費	経費	減価償却費	維持補修費	
渡嘉敷	渡嘉敷村前山墓園	0	0	0	0	0	0

第5章 将来の施設更新投資等の試算（財務シミュレーション）

1. 更新投資試算の方法

各施設について、固定資産台帳に記載されている当該施設と対象として試算します。

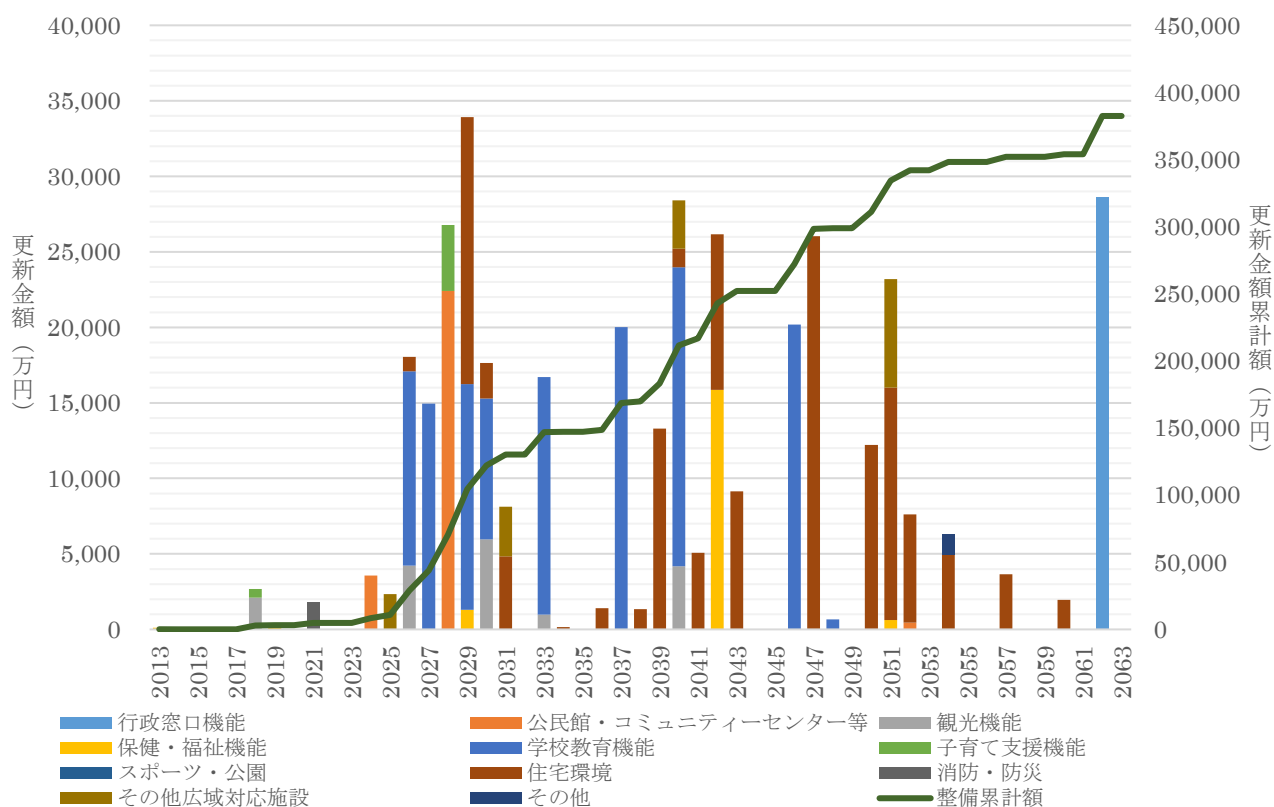
施設の更新時期は、各資産の取得年度から固定資産台帳の耐用年数が経過した時点（法定耐用年数経過時点）で、固定資産台帳上の再調達価格で再整備することとします。

2. 公共建築物に係る更新投資の試算

公共建築物の今後 50 年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じた f 施設の建替を想定すると 今後 50 年間で約 38 億円の更新投資が必要になります。

50 年間の平均年間必要更新投資額は、年間約 7 千 6 百万円必要です。特に、平成 38 年度（2026 年度）から平成 43 年度（2031 年度）に耐用年数を迎える施設が集中しています。

図表 公共建築物の年度別更新金額（単位：万円）

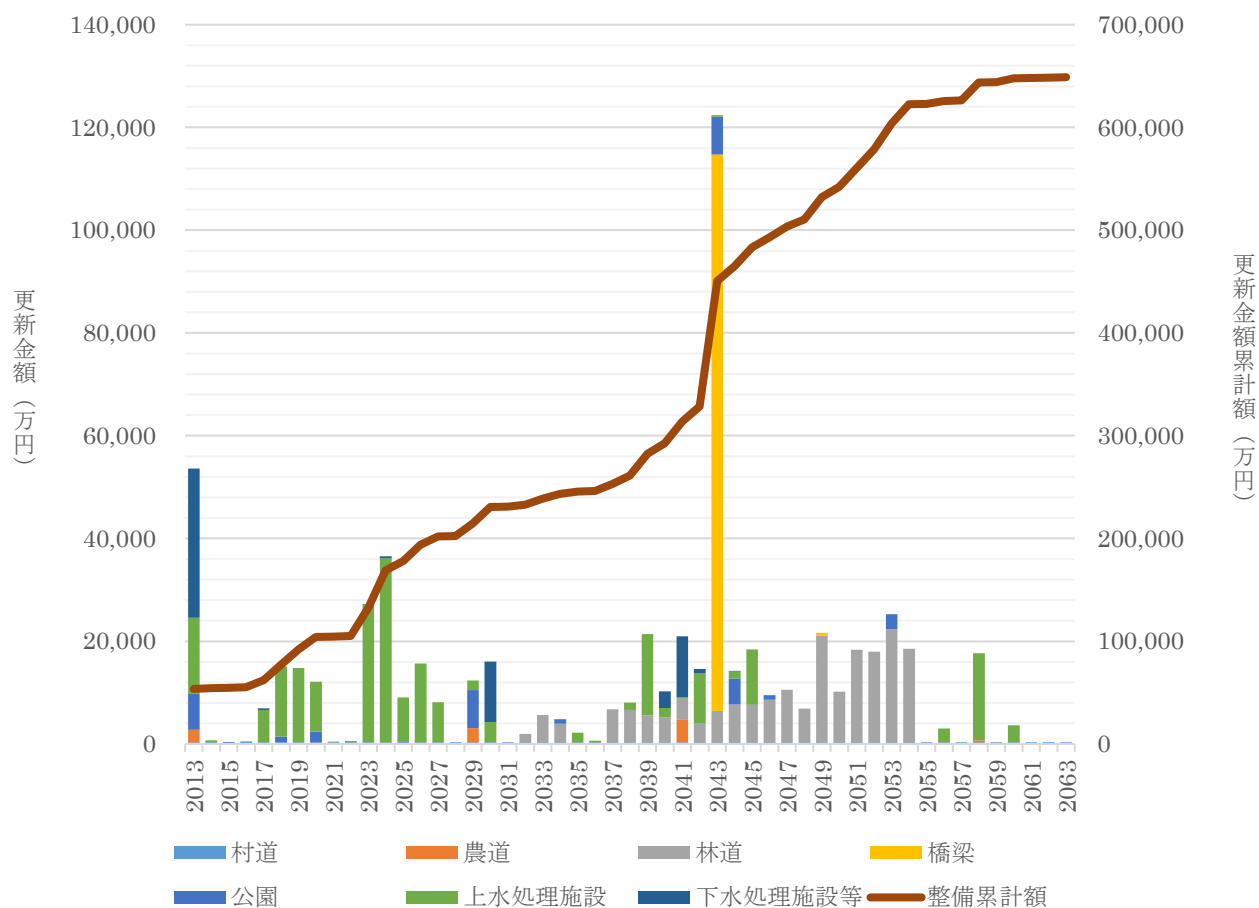


3. インフラ資産に係る更新投資の試算

インフラ資産の今後50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の建替を想定すると**今後50年間で約65億円の更新投資が必要**になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、**年間約1億3千万円必要**です。2043年度（平成55年度）には「村道青年の家線（平和橋・希望橋・未来橋）」が耐用年数を迎えます。

図表 インフラ資産の年度別更新金額（単位：万円）



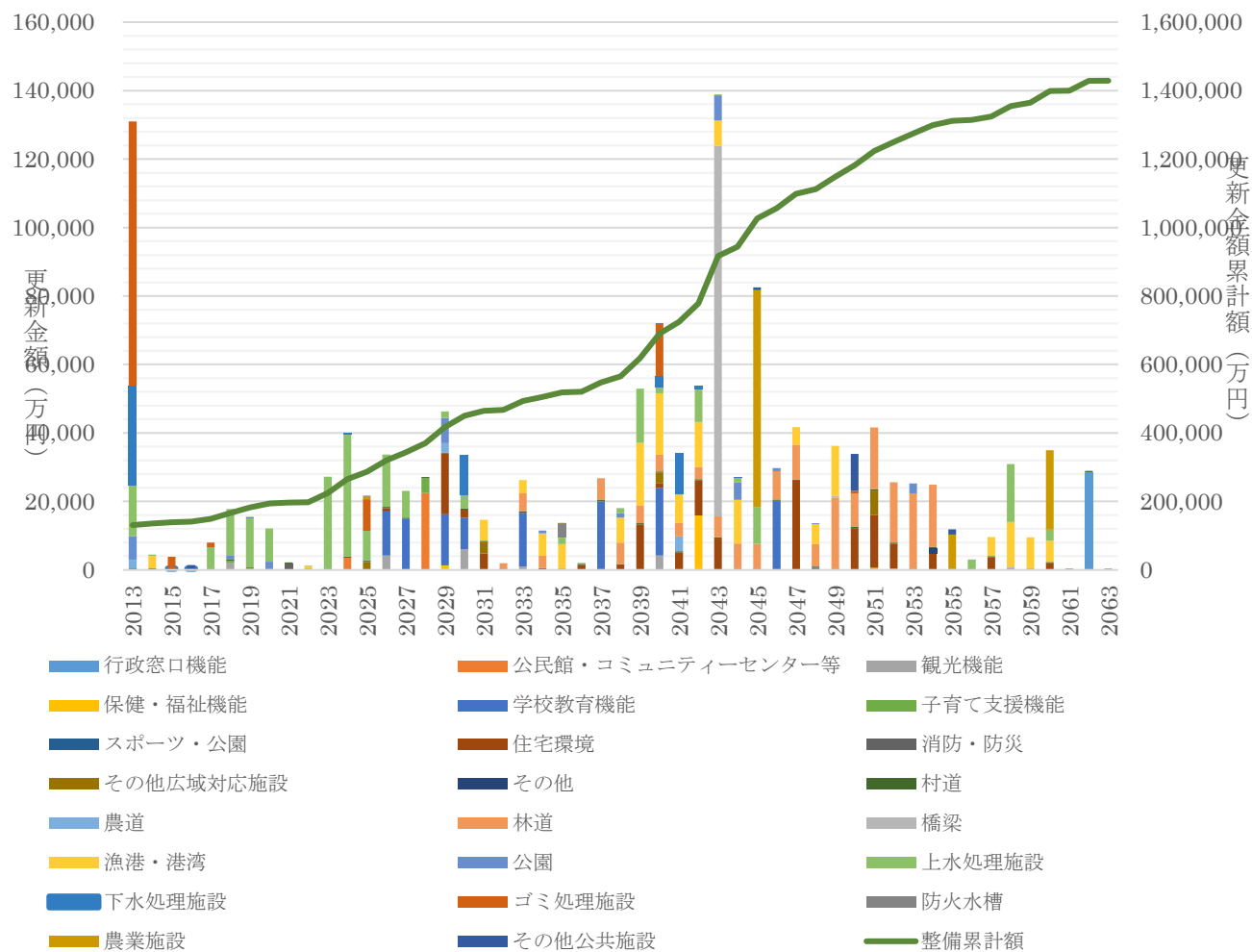
※耐用年数が経過している施設等については、2013年度に一括計上しています。

4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算

公共施設全体の今後50年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の建替を想定すると**今後50年間で約143億円の更新投資が必要**になります。

50年間の平均年間必要更新投資額は、**年間約2億9千万円必要**です。

図表 公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額（単位：万円）



※耐用年数が経過している施設等については、2013年度に一括計上しています。

5. 財務シミュレーション

（1）財務シミュレーションの前提条件

財務シミュレーションは、平成 25 年度（2013 年度）決算データを使用し、以下の設定で試算を行います。平成 25 年度は補助金の金額が通常と比べて多かったため、平成 23 年度（2011 年度）の決算データで試算を行います。なお、試算は平成 26 年度（2014 年度）から 50 年後の平成 75 年度（2063 年度）まで試算します。

歳入－歳出の額がマイナスとなり、そのマイナス分の累計額が純資産と資金を上回ると、村の財政運営が困難になります。

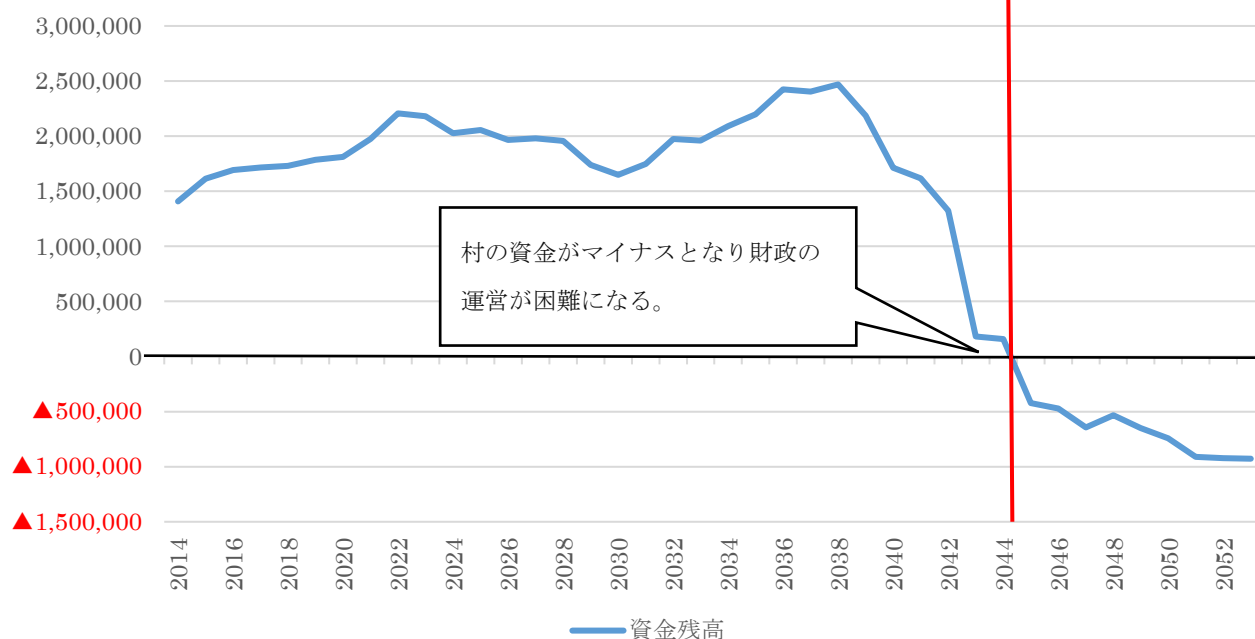
【シミュレーションの設定】

- 行政コスト計算書（企業会計でいう損益計算書）は、平成 23 年度（2011 年度）と同じ金額で推移するものと仮定します。
- 全てのインフラ施設及び公共建築物について、耐用年数到来ごとに再調達価格で施設更新を行うこととします。
- インフラ施設の新規建設費は、平成 23 年度（2011 年度）と同じ金額が毎年投資されることとします。
- 公共建築物の新規建設費は、平成 23 年度（2011 年度）と同じ金額が毎年投資されることとします。

（2）財務シミュレーション実施結果

前述の設定に基づいてシミュレーションを行うと、平成 57 年度（2045 年度）には、村の資金が底をつく結果になります。

図表 財務シミュレーション結果（単位：千円）



第6章 課題の整理と基本的な方向性

1. 村勢概要等からみた課題

(1) 村の特徴を踏まえた公共施設のあり方

①現状

- 本村は、周りを海で囲まれた離島です。中央部から北側にかけて 200 メートルを越す山々が連なり、その間にあるわずかな低地に渡嘉敷、阿波連、渡嘉志久の 3 集落があります。
- 沖縄本島からは村営定期船「フェリーとかしき」（所要時間 70 分）と高速旅客船「マリンライナーとかしき」（所要時間 35 分）との 2 隻体制で毎日運航し、那覇（泊港）から短時間の船旅で訪れることができます。

②課題

- 主に観光客が利用する施設と島民の利用が想定される施設を区分し、それぞれの特性に合わせた公共施設の集約、統廃合の検討が必要です。
- 公共施設の集約、統廃合を検討する際に地形的な条件を踏まえた利用者の利便性を考慮する必要があります。

(2) 少子高齢化と将来的な人口減少を踏まえた公共施設のあり方

①現状

- 本村は、年々人口減少が続いていますが、世帯数は年々増加傾向にあります。世帯数の増加は、雇用需要から生産年齢世代の転入が増加しており、単身世帯が多い傾向になっているからと考えられます。
- 人口動態について、自然動態に関して大きな増減傾向は見られませんが、社会動態に関しては転出が多く減少傾向になります。
- 本村の人口は、経年的に減少傾向にあり、全国的にも人口減少が進むと予測されている中、本村においても減少することが予測されています。

②課題

- 人口の減少は、少子・高齢化が進み生産年齢人口が少なくなる状況を生み出し、税収減少など財政面への影響が懸念されます。
- 将来的に地域住民の高齢化に伴うコミュニティ活動の低下の可能性などが考えられ、人口構成の変化に伴う村民ニーズの変化に対応した公共施設サービスを検討する必要があります。

（３）厳しい財政を踏まえた公共施設のあり方

①現状

○本村が所有する資産全体のうち、固定資産（公共施設等）の割合が約 9 割と高い比率です。これは所有している公共施設に対して資金ストックが乏しい現状を示しています。

○財源全体のうち国県補助金（依存財源）の割合が高いです。自主財源が限られていること、依存財源が今後も同水準で得られるか不透明なことから、将来的に見込める財源が少ないです。

②課題

○厳しい財源状況にある現状を踏まえると、今後安定した運営を行っていくには、固定資産に投下するコスト（建設コスト、維持管理コスト等）の削減を長期的に行っていく必要があります。

2. 公共施設全体の状況からみた課題

(1) 公共建築物

①現状

- 公共建築物総面積は 18,093 m²あります。
- 公共建築物のうち、築後 40 年以上経過建物は 2 件あります。(昭和 41 年建築の職員住宅、昭和 45 年建築の僻地保育所) それ以外に築後 30～39 年建物が公共建築物全体の 30%あります。これらの施設は早急に、状況に応じた対応(建替等)が必要です。

②課題

- 更新投資試算(第5章)で見た様に、更新金額の集中時期が到来することが予想されます。
- 長期的な財源確保を行う為に、必要金額の平準化や縮減等を検討する必要があります。併せて、人口減や少子高齢化に対応した施設のあり方(施設数の用途替や増減)を検討する必要があります。

(2) 道路

①現状

- 総延長は、村道：約 21,675m、農道：約 3,596m、林道：14,290mとなり、全体で約 39,561mです。
- 村道の整備金額が多い時期は、1982 年度(昭和 57 年度)、1987 年度(昭和 62 年度)です。
- 農道の整備金額が多い時期は、1960 年度(昭和 35 年度)、1980 年度(昭和 55 年度)、1992 年度(平成 4 年度)です。
- 整備後の道路はアスファルト張替え等のメンテナンスが長期に必要となります。

②課題

- 道路は、村民生活を支える基盤であり適切な維持管理が必要です。事後保全型の維持管理ではなく、利用需要に応じた路線別の優先順位を検討し、予防保全型の維持管理が必要です。

（３）橋梁

①現状

○村が管理している橋梁の総延長は180.85mになります。

○整備が多い時期は、昭和57年度（1982年度）となり、「村道阿波連線」と「村道青年の家線（平和橋・希望橋・未来端）」の4本で、整備金額約11億円をかけて170m（総延長の約94%）が整備されています。

②課題

○橋梁長寿命化計画に基づき、継続的な維持管理が必要です。

（４）漁港

①現状

○漁港に関しては阿波連漁港の1施設のみですが、頻繁に整備されています。

②課題

○今後は予防保全型の維持管理体制の構築を検討することが必要と考えます。

（５）公園

①現状

○村が管理している公園は5施設あります。

○1993・1996年度に、「森林公園」が約1億2千万円をかけて整備され、2002年度は「渡嘉志久海岸公園」が整備金額約1億円をかけて整備され、2013年度は「渡嘉敷村戦争遺跡遊歩道」が約7千万円をかけて整備されました。

②課題

○大小の公園に係らず遊具等の劣化状況を適切に判断し、住民が安心・安全に利用できる公園の管理体制を推進する必要があります。

（６）上水処理施設

①現状

- 上水処理施設の整備のピークは、平成 15 年度（2003 年度）で、整備金額約 5 億円をかけて渡嘉敷浄水場の浄水施設等が整備されました。
- 県への移管を進めている状況です。

②課題

- 水道広域化に向けて取り組みを進めていく必要があります。その後は管渠の計画的な維持管理体制を構築する必要があります。

（７）下水処理施設

①現状

- 下水道処理施設はこれまで約 6 億円をかけています。整備金額が最も大きい平成 4 年度（1992 年度）では整備金額約 3 億円（これまでの総整備金額の約 50.0%）をかけて阿波連浄化センター等が整備されました。

②課題

- 長寿命化計画に基づき、継続的な維持管理が必要です。
- 浄化槽の整備が行き届いているのが阿波連地区のみとなっており、地区への整備拡大について検討の必要があります。

（８）ごみ処理施設

①現状

- ごみ処理施設の整備のピークは平成 11 年度（1999 年度）に整備金額約 7 億円をかけて、「クリーンセンター」が整備されています。

②課題

- 衛生面や安全面を考慮し、施設の維持管理を進めていく必要があります。

（９）防火水槽

①現状

- 防火水槽に関してはすべて昭和 57 年度（1982 年度）に整備されており、阿波連地区に 2 基、渡嘉敷地区に 3 基整備されています。
- 防火水槽はすべて埋設されています。

②課題

- 防火水槽については水槽内のフロートの老朽化を見定め、適宜修繕していく必要があります。

（１０）農業施設

①現状

- 農業施設の整備のピークは平成 4 年度（1992 年度）になります。整備金額約 7.5 億円かけて、ファームポンド（貯水施設）が建設されています。

②課題

- 今後は中長期的な視点から計画的な維持管理体制を構築していく必要があります。

（１１）その他公共施設

①現状

- その他公共施設の整備のピークは平成 12 年度（2000 年度）になります。整備金額約 1 億円をかけて救急用ヘリポートが整備されています。

②課題

- ヘリポートの照明器具が塩害により老朽化が早まる恐れがあるため、塗装等による長寿命化の検討が必要です。

3. 施設機能別（建築物）にみた課題

（1）行政系施設

①現状

- 行政系施設は、「渡嘉敷村役場庁舎」のみです。延床面積は 1,462 m²です。
- 平成 23 年度に建設された施設のため、バリアフリー等に関して全て対応されています。

②課題

- より長期間利用できるよう計画的な維持管理が必要です。

（2）公民館・コミュニティセンター等

①現状

- 公民館・コミュニティセンター等の施設は 2 施設あり、渡嘉敷区に「渡嘉敷中央公民館」と阿波連区に「阿波連生活館」があります。総延床面積は 996 m²です。
- 全施設とも昭和 56 年度以前の建築であるため、耐震基準を満たしていない状況です。「渡嘉敷中央公民館」は今後、修繕・改装を検討予定です。

②課題

- 対象 2 施設がどちらも高い老朽化比率となっているため、耐震基準その他の状況を加味したうえで更新順序等の検討を行う必要があります。

（3）観光機能施設

①現状

- 観光機能施設は 4 施設あり、渡嘉敷区にある「観光案内休憩所」と阿波連区にある「青少年旅行村」・「森林公園 ログハウス」です。総延床面積は 1,011 m²です。
- 「観光案内休憩所」と「森林公園 ログハウス」の 2 施設は、耐震基準を満たしています。

②課題

- 「青少年旅行村」内のトイレ・シャワー施設は老朽化比率が 80%を超えており、早急に検討が必要です。また「観光案内休憩所」は、老朽化比率が 60%を超えており更新等の検討時期になっています。

（４）保健・福祉施設

①現状

- 保健・福祉施設は、4施設あります。全て渡嘉敷区にあります。総延床面積は997㎡です。
- 「高齢者生活福祉センター」は耐震基準に適合しており、バリアフリー等への対応も対応済みです。

②課題

- 「へき地保健指導所」と「渡嘉敷歯科診療所」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。特に「渡嘉敷歯科診療所」は、既に耐用年数を過ぎている状況です。
- 「渡嘉敷理容・美容館」も老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

（５）学校教育機能（小学校・中学校）

①現状

- 学校教育機能（小学校・中学校）は4施設あります。小学校2校、中学校1校、学校給食共同調理場です。総延床面積は5,028㎡です。
- 「渡嘉敷小学校」が耐震基準に不適合となっており、他の3施設については耐震診断未実施・耐震基準不明となっています。
- 小学校2校の児童数は、平成17年（2005年）をピークに減少傾向にあります。
- 中学校は、平成23年（2011年）をピークに減少傾向にあります。

②課題

- 「渡嘉敷小学校」と「阿波連小学校」の小学校2校が老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

（６）子育て支援施設

①現状

- 子育て支援施設（保育所・幼稚園）は2施設あります。幼稚園1施設、保育所1施設です。総延床面積は351㎡です。
- 2施設とも1981年（昭和56年）以前の旧耐震基準の施設となっています。

②課題

- 「渡嘉敷村へき地保育所」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。
- 「渡嘉敷幼稚園」も老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

（7）住宅環境

①現状

- 住宅環境の施設は14施設あります。渡嘉敷区8施設、阿波連区6施設です。総延床面積は7,479 m²です。
- 耐震診断については、すべての施設が耐震基準に適合済みとなっています。

②課題

- 「村民住宅」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。
- 「渡嘉志久団地」・「渡嘉敷小学校 教員住宅」・「渡嘉敷中学校 教員住宅」・「阿波連小学校 教員住宅」も老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

（8）消防・防災施設

①現状

- 消防・防災の施設は、渡嘉敷区に1施設あります。延床面積は114 m²です。
- 「消防車庫」は1983年度（昭和58年度）に建築しており、耐震基準を満たしています。

②課題

- 「消防車庫」は老朽化比率が80%を超えており、早急に検討が必要です。
- 現状に即した車庫の再整備が必要となります。

（9）農林水産施設

①現状

- 農林水産施設は、渡嘉敷区に4施設あります。総延床面積は653 m²です。
- 耐震診断については、すべての施設が耐震基準に適合済みになっています。

②課題

- 「共同処理加工場」は、老朽化比率が60%を超えており、更新等の検討時期になっています。

（10）その他施設

①現状

- その他施設は、渡嘉敷区に「渡嘉敷村前山墓園」が1施設あります。

②課題

- 「渡嘉敷村前山墓園」は住民にアンケートを募った上で整備をおこないましたが、利用率が低い状態にあります。

4. 更新投資（財務シミュレーション）からみた課題

（1）更新投資額

①現状

- 公共建築物は今後 50 年間で約 48 億円の更新投資が必要になり、50 年間の平均年間必要更新投資額は年間約 9 千 6 百万円必要です。
- インフラ施設の今後 50 年間で約 88 億円の更新投資が必要になります。50 年間の平均年間必要更新投資額は年間約 1 億 8 千万円必要です。
- 公共建築物、インフラ施設を含めた公共施設全体の今後 50 年間で約 137 億円の更新投資が必要になります。50 年間の平均年間必要更新投資額は年間約 2 億 7 千万円必要です。

②課題

- すべての公共施設等を更新するには長期的に多額の財源が必要であることを認識し、財源確保・コスト削減を同時に模索する事が必要です。

（2）財務シミュレーション

①現状

- 前述の設定に基づいてシミュレーションを行うと、平成 41 年度（2029 年度）には、村の財政運営が困難になります。

②課題

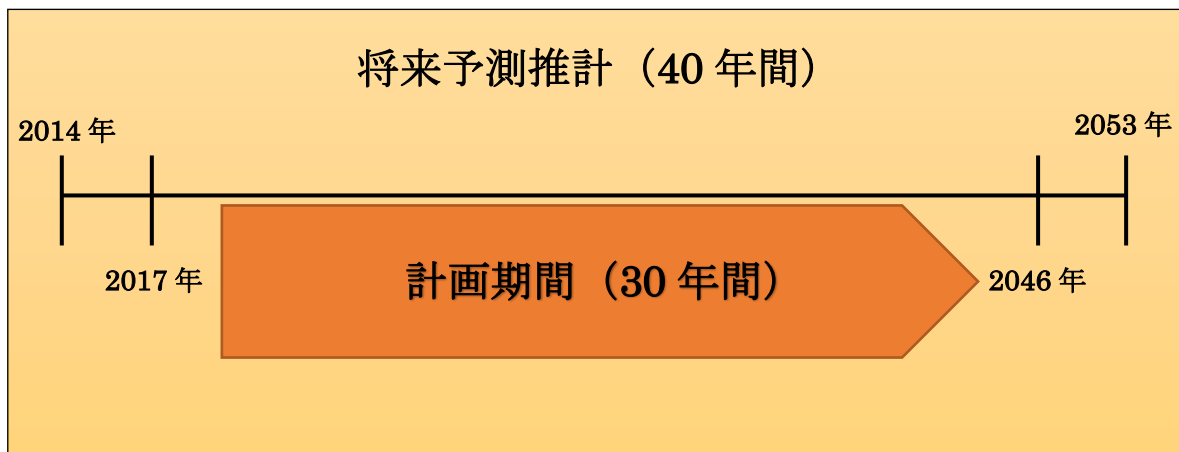
- 財政を健全に維持していくためには、公共施設を削減し公共施設の更新投資や大規模修繕費用を抑えることが必要です。
- 公共施設のうちインフラ施設を削減することは、困難であるため公共建築物の新規建設費を抑制し、財政の健全性を維持していく必要があります。
- 上記の財政シミュレーション上で、平成 57 年度（2045 年度）から資金がマイナスに転じるのを解消する必要があります。

第7章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

これまで本計画のなかで述べてきたように、今後の公共施設等にかかるコスト（更新費用、維持管理費用）が大きな負担となることが予想されます。現状の財源見込みを踏まえると、コスト縮減を長期的に行う事が必要不可欠であると考えます。これを実現しながら適切な公共施設サービスを提供し続けていくためには、公共施設等の管理に関する基本方針を定め、それに基づく公共施設の安全性の確保や適正配置の検討による公共施設等のマネジメントを行い、施設の長寿命化並びに施設機能の統廃合や集約化、PPP/PFIなどの民間活力の活用、市町村域を超えた公共施設の広域化についても検討したうえで、住民ニーズに対応した効率的、効果的な管理の実現を目指します。

1. 計画期間

公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくには、公共施設等の性質上、中・長期的な視点が不可欠です。そこで本計画では、2014年度から2053年度までの40年間の将来予測推計に基づき、2017年度から2046年度までの30年間の方向性を策定するものとします。



ただし、計画期間内であっても公共施設等の実態の定期的な把握及び、定期的かつ必要に応じた適宜の見直しにより、本計画の更なる充実を図っていきます。

2. 数値目標

本村の離島としての特性や生産年齢人口の増加傾向を鑑み、現状において公共建築物の削減は困難と考へ、保有量（延床面積）の削減目標は設定しないものとします。また、インフラ資産については、住民生活を支えるライフラインであり、下水道を含めさらに整備を進めるべきものもあるため、整備量の削減を図るといった性質ではないと判断し、削減目標は設定しないこととします。併せて、新規整備を行う際には、その必要性及び費用対効果を十分に踏まえた整備を行うことを徹底します。

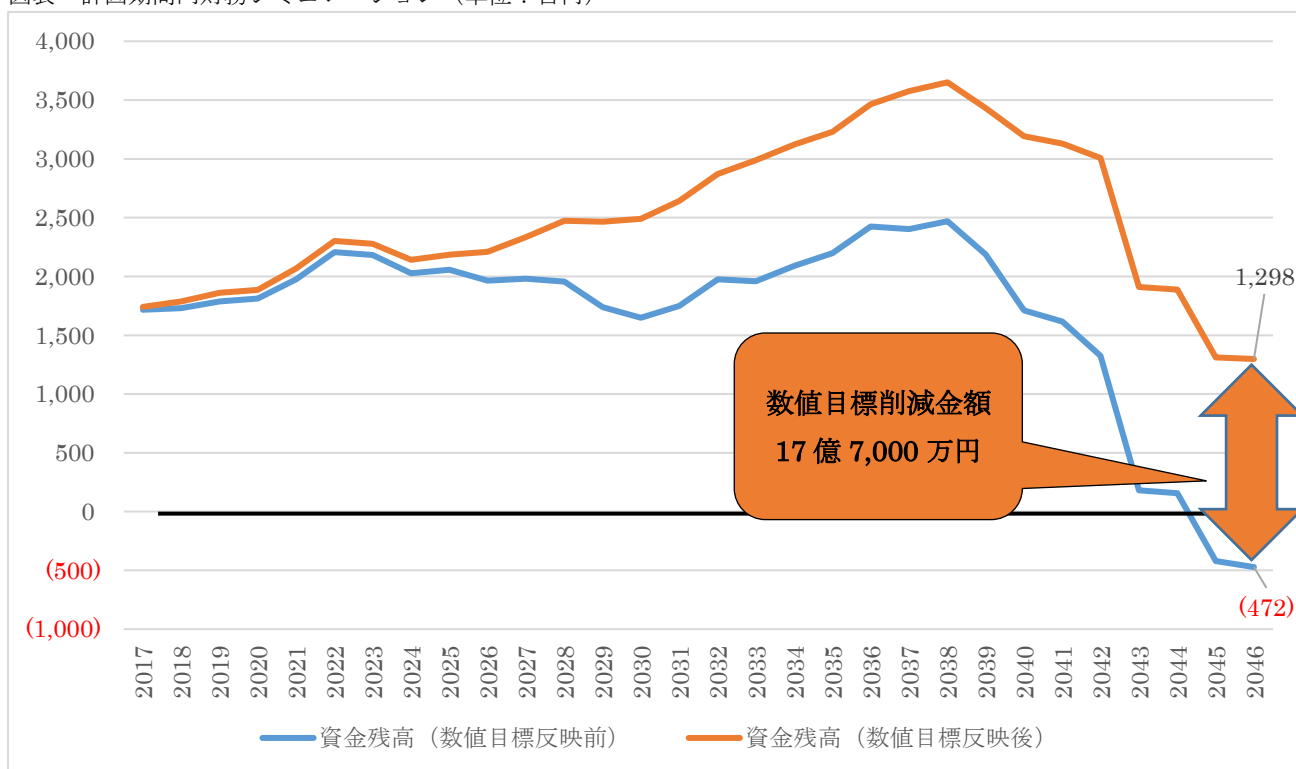
ただし、計画の実効性を確保する為、以下の数値目標を設定します。

要素	30年間の削減（縮減）目標値	30年間の削減（縮減）目標金額
更新等費用（長寿命化）	長寿命化による更新費用の縮減	17億3300万円
維持管理費（縮減率）	施設維持管理費年間5%の縮減	3,700万円
30年間合計（金額）		17億7,000万円

長寿命化による更新費用の縮減については、計画期間内に耐用年数を迎える公共建築物は全て長寿命化改修を行うことと想定し、更新費用のおよそ4割の金額を縮減することと設定しました。施設維持管理費の縮減については平成27年度における施設維持管理費の5%を毎年縮減することと設定しました。

前述の数値目標を踏まえ、財務シミュレーション再度行くと、計画期間30年間に於いて一度も資金不足に陥ることもなく、2046年度には資金残高が約13億円となり、公共施設の更新に充てる費用の確保も可能になります。

図表 計画期間内財務シミュレーション（単位：百円）



3. 現状や課題に関する基本認識

本村の人口は減少傾向ですが生産年齢人口の割合は近年増加の傾向で推移しています。但し、将来的には少子高齢化が予測され、人口構成の変化が流動的になり公共施設等に対する住民ニーズの変化が見込まれます。また、公共建築物において老朽化比率 80%以上の施設が全体の 1 割ほどあり、早急な対策については深刻な状況にはないものの、下水道などのインフラ資産の整備費用も含めて施設の更新が単年度に集中する可能性が懸念され、財政面に大きな影響を及ぼす要因が見受けられます。今後は、これらに対する対策を講じ、計画的に公共施設等のマネジメントを行うことが求められます。

4. 各種方針

(1) 点検・診断等の実施方針

○法定点検だけでなく劣化状況や利用状況等を把握しながら、必要に応じて専門業者による劣化診断等を実施して詳細な状況把握を行っていきます。また、地域住民による不具合箇所の聞き取りや定期的な安全点検等により状況を随時確認し、関係者で情報共有を図りながら適正な管理を行います。

(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針

○維持管理および修繕を自主的に管理し、計画的・効率的に行います。また、本村は塩害環境下にあるため、屋外設置の金属設備等については塗膜等を重点的に点検し、台風の被害についてはその都度対応します。

○更新する場合は、むらづくりとの整合性を保ち公共施設のコンパクト化や効率化の観点から、土地や建物について、単独更新以外の統合や複合化について検討します。

○更新・改修の方針については、統合や廃止の推進方針と整合性を図ります。

(3) 安全確保の実施方針

○利用者と情報を共有しつつ、公共建築物の危険性が認められた場合は、庁議等で供用制限・供用廃止等を検討し、危険場所に表示板を設置、または撤去を行います。

(4) 耐震化の実施方針

○長寿命化計画による耐震診断・耐力度調査により、計画的・効率的な施設整備を図ります。

(5) 長寿命化の実施方針

○長寿命化計画により、長寿命化可能な建物か判断し、財政状況を見極めながら実施します。また、予防的な管理体制へ移行し長寿命化を図ります。

(6) 統合や廃止の推進方針

○それぞれの必要性について検討し、民間施設の活用・他機能での代用・取り壊し等を含め実施します。一部の施設は他機能を統合した総合的複合施設として建て替えを検討します。

第8章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

1. 公共建築物

施設類型	方針
行政系施設	
・渡嘉敷村役場庁舎	・平成23年度の新築庁舎であることから、長寿命化対策を計画的に実施し、維持コスト低減に努めます。 ・余剰スペースを作り出し、他機能施設の受け入れ等の複合化を目指します。
公民館・コミュニティセンター等	
・渡嘉敷中央公民館 ・阿波連生活館	・老朽化や耐力度調査の実施により建替えが必要となる施設については周辺の他機能施設を受け入れ複合施設を前提に建替検討を行います。 ・単独での建替えを必要とする施設については使用料と免除に関する条例の見直しも検討します。
観光機能施設	
・渡嘉敷観光案内休憩所（歴史民俗資料館） ・渡嘉敷村青少年旅行村 ・森林公園 ログハウス	・費用対効果を十分に勘案したうえで長寿命化計画を推進し、計画的な維持管理に努めます。 ・建て替えが必要な際は複合化を検討し、多機能化による観光振興及び行政サービスの向上を図ります。
保健・福祉施設	
・へき地保健指導所 ・渡嘉敷村歯科診療所 ・渡嘉敷村高齢者福祉センター ・渡嘉敷理容・美容館	・老朽化の進んでいる施設や稼働率の低い施設については設置当初の目的や生活環境の変化、さらには住民ニーズから意義検証を行い周辺施設との集約・複合化を目指します。 ・稼働率の高い施設については、長寿命化を図るべく計画的な維持管理に努めます。
学校教育系施設	
・渡嘉敷小学校 ・渡嘉敷中学校 ・阿波連小学校 ・渡嘉敷村学校給食共同調理場	・「公立学校施設整備事業長期計画」に基づき随時建替を実施します。 ・学校教育系施設全体としては「長寿命化計画」に基づき、計画的に維持管理を行います。
子育て支援施設	
・渡嘉敷村へき地保育所 ・渡嘉敷村立渡嘉敷幼稚園	・渡嘉敷村へき地保育所は平成27年度に閉鎖。現在倉庫として利用中であるが、老朽化が進んでいるため速やかな処分を行います。 ・渡嘉敷幼稚園は、「公立学校施設整備事業長期計画」に基づき、随時建替を実施します。

施設類型	方針
村営住宅・教員住宅等	
・村営住宅(7施設) ・教員住宅等(6施設) ・職員住宅	・「公営住宅等長寿命化計画」を推進し、費用対効果を十分に考慮したうえで長寿命化を図ります。 ・教員住宅は「公立学校施設整備事業長期計画」に基づき建替を行っていきます。 ・住宅環境の不足が人口減要因の一つであることを踏まえ、老朽化施設は更新を図るが、今後は定住化の促進のために民間活用による住宅確保を目指します。
消防防災施設	
・消防車庫	・消防車庫は、適切な維持管理を図りつつ、他施設への複合化を目指します。
農林水産施設	
・滞在型体験農園施設 ・共同処理加工場 ・集出荷施設 ・渡嘉敷村農産物処理加工施設	・農林水産施設は長寿命化を図りつつ、民間活用等によるコスト削減を目指します。 ・建て替え時には他施設との集約化、複合化を検討します。
その他施設	
・渡嘉敷村前山墓園	・渡嘉敷村前山墓園は、長寿命化を図り適切な維持管理に努めます。

2. インフラ施設

施設類型	基本方針
道路 (村道) (農道) (林道)	・「道路ストック」に基づき、道路の機能や必要性などを十分に検討し客観的な観点から整備を進めていきます。 ・予防保全等の効率的な補修方法について継続的に検討し、将来的には舗装維持管理費用の縮減を目指していきます。
橋梁	・「橋梁長寿命化計画」に基づき、維持管理体制の構築、計画的な補修・架替等を実施し、橋梁・函渠を長寿命化させることで、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保と維持管理費用の縮減、平準化を図っていきます。 ・事後保全型管理から予防保全型の管理へ移行し、橋梁の健全度を回復していきます。
漁港	・「機能保全計画(仮)」の導入を実施し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・防波堤などの危険箇所には、看板設置等を行い、安全対策を講じていきます。

施設類型	基本方針
公園	・「機能保全計画（仮）」の導入を<u>実施</u>し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・毎月の点検、遊具メンテナンスなどの定期点検を実施し、安全に遊具を利用できるよう管理し、予防保全型の維持管理に努めます。
上水処理施設等	・沖縄県企業局による水道広域化事業にのっとり、安心安全な水を永続的に供給することが出来るよう努めます。 ・広域化後も村が所有する管路及びその他施設は計画的な点検、清掃、補修による施設の長寿命化を図り、予防保全型の維持管理に努めていきます。 ・既存施設の中でも、中継ポンプ施設は重要であることから、腐食・損耗・運転状況を勘案し、優先順位をつけながら計画的に維持修繕に努めていきます。
下水処理施設	・「阿波連浄化センター長寿命化計画（機械施設のみ）」「<u>下水道ストックマネジメント</u>」に基づき下水道施設の適正かつ計画的な維持管理を進めていきます。 ・下水道の有すべき機能を維持するため、耐震診断を行い、現況施設の状況に応じた耐震対策を実施していきます。 ・計画的な点検、清掃、補修による施設の長寿命化を図り、資産を有効に活用しながら、予防保全型の維持管理に努めていきます。
ごみ処理施設	・「機能保全計画（仮）」の導入を<u>実施</u>し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・費用対効果を十分に勘案したうえで長寿命化計画を推進し、事後保全ではなく予防保全の維持管理体制の構築に努めます。
防火水槽	・「機能保全計画（仮）」の導入を<u>実施</u>し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・費用対効果を十分に勘案したうえで長寿命化計画を推進し、事後保全ではなく予防保全の維持管理体制の構築に努めます。
農業施設	・「<u>農業水利施設のストックマネジメント</u>」の導入を実施し、農業水利施設の適正かつ計画的な維持管理を進めていきます。 ・施設管理者（各水利組合等）が施設状況の把握と軽微な補修等の日常的な管理を適切に実施することを推奨し、施設管理者と町及び関係機関が連携して農業水利施設の変状等についての情報共有や、機能診断、修復履歴等に係る一元的な情報蓄積を実施します。
その他公共施設 （工作物等）	・「機能保全計画（仮）」の導入を<u>実施</u>し、計画的に補修・改修を行っていきます。 ・費用対効果を十分に勘案したうえで長寿命化計画を推進し、事後保全ではなく予防保全の維持管理体制の構築に努めます。

第9章 計画の推進にあたって

1. 全庁的な取組体制の構築

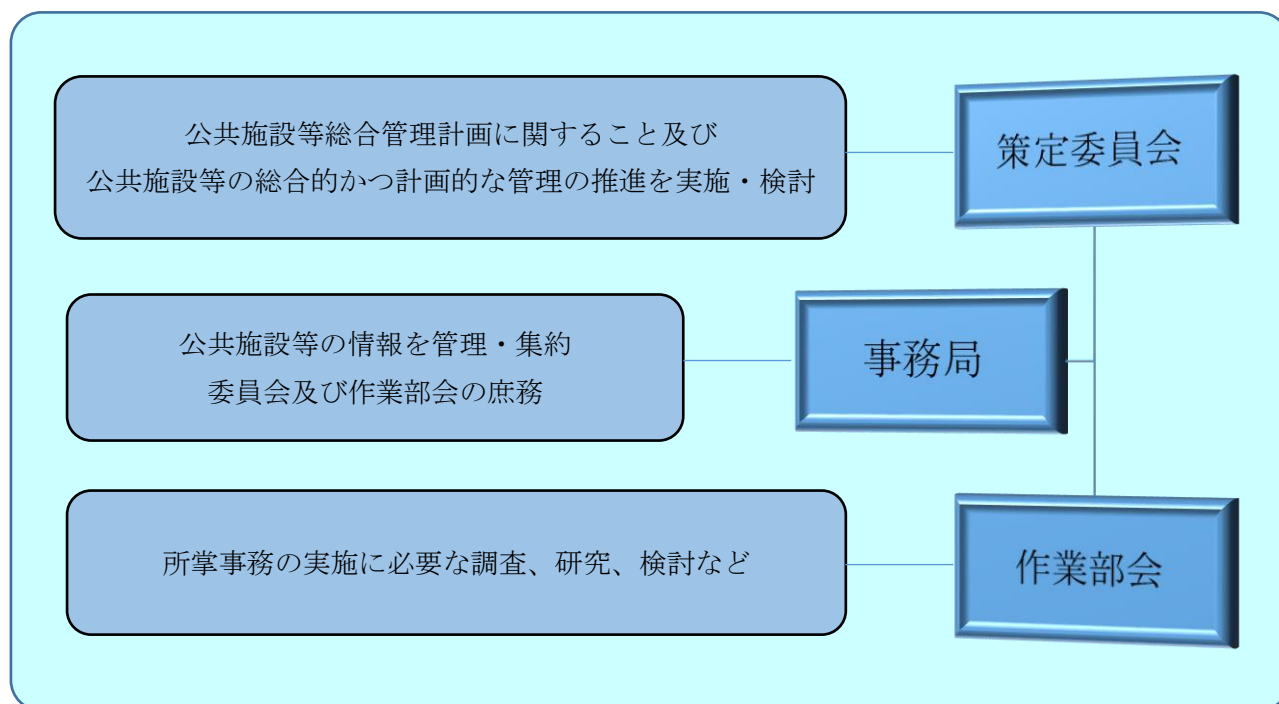
公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくにあたり、策定時に設置した「渡嘉敷村公共施設等総合管理計画策定委員会」（以下「委員会」という。）に基づき、全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制を構築し、公共施設等の情報を管理・集約及び委員会の庶務を行う部署を総務課と定めて的確に運用していきます。

また、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、必要に応じて委員会に作業部会を置き、必要な事項等の調査、研究、検討を行います。そのほか、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めます。

渡嘉敷村公共施設等総合管理計画策定委員会 構成委員

委員長	副村長			
副委員長	総務課長			
委員	民生課長	経済建設課長	船舶課長	会計課長
	商工観光課長	議会事務局長	教育課長	
作業部会	公共施設等を所管する課等の実務担当者			
庶務	総務課			

渡嘉敷村公共施設等総合管理計画策定委員会・作業部会体制図



2. 情報管理及び共有方策

(1) 公共施設等に関する情報の一元管理

計画的、効率的に公共施設等の管理を進めていくためには、情報の一元管理と共有化が不可欠です。その実現に向けて、地方公会計（固定資産台帳）と連動した公共施設等マネジメントの実現を図ります。毎年度の決算等と連携可能な管理手法を構築し、継続的な運用と情報の一元管理及び共有化を図ります。

(2) 議会や住民との情報共有・相互理解の醸成

本村における公共施設等の最適な配置を検討するにあたっては、むらづくりのあり方に関わるものであることから、個別施設の老朽化対策等を行う事業実施段階において議会や住民との相互理解を深め、各段階で関係する各主体との合意形成を醸成することが重要となります。

そのため、本計画に基づき、本村の公共施設等の総合的な管理に対する考え方や目指す姿、施設の有効利用や効率的な管理運営に向けた取り組みの方向性などの情報を広く発信し、周知・啓発を図っていきます。特に、住民生活と密接な関わりを持つ公共施設については住民の意見や意向を把握し、本計画に反映するなど、公共施設の管理に対して住民の主体的な参画を促し、協働による取り組みを推進していきます。

3. フォローアップの実施方針

(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定

本計画に示す公共施設の総合的な管理に対する基本的な考え方や取組の方向性に基づき、今後は個別施設ごとに、長寿命化計画や施設再配置計画等といった、具体的な取り組みを実践していくための推進計画・アクションプランの策定を進めていきます。なお、推進計画・アクションプラン等の策定にあたっては、「委員会」を中心とした全庁横断的な連携・調整機能を発揮し、的確な計画策定に留意します。

渡嘉敷村公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月 発行

渡嘉敷村

〒901-3592 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷 183 番地

TEL : 098-987-2321 FAX : 098-987-2560

URL : <http://www.vill.tokashiki.okinawa.jp/>